

YPES-15-1854

電池パック用低圧コネクタ
取扱説明書

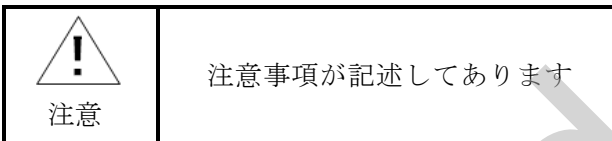
矢崎総業株式会社
矢崎部品株式会社
改定年月日 2021年09月24日

このたびは矢崎製品をご使用頂き誠にありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管して下さい。
- 製品のご使用に際しては、貴社の製造、品質条件に適合し、かつ、要求の特性及び性能を満足していることをご確認頂きますようお願い致します。
- 本内容についてご不明点等があった場合は、弊社営業担当にご連絡頂くか下記のURLよりお問合せお願い致します。
お問合せ先 :<https://connectors-catalog.sys.vzk.co.jp/q.html>

安全上の注意事項について

この取扱説明書への表示では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お守り頂くことを下図のように説明しています。内容をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。表示内容を守らないことにより生じた危害や損害については、保証を致しかねますのでご了承下さい。



目 次

1 部品の名称と機能	P. 4
1-1. 部品名称	
1-2. 部品名称と機能	
1-2-1. メス端子(0.64、2.3Ⅱ)	
1-2-2. オス端子(0.64、2.3Ⅱ)	
1-2-3. メスハウジング	
1-2-4. メスカバー	
1-2-5. オスアウターハウジング	
1-2-6. オスインナーハウジング	
2 製品の受入れ、運搬、保管	P. 11
2-1. 製品受入れ時の検査方法	
2-2. 製品の運搬、保管方法	
3 端子圧着	P. 13
3-1. 圧着規格	
3-2. 端子圧着時のチェック項目	
3-3. 圧着部の測定方法	
3-4. 圧着部の測定機	
3-5. 端子圧着済品の運搬	
3-6. 端子圧着済品の保管	
4 ハウジングと端子・スペーサの組付け	P. 22
4-1. ハウジングへのメス端子挿入方法	
4-2. メススペーサの組付け(本係止作業)	
4-3. インナーキャビティへのオス端子挿入	
4-4. インナーキャビティの組付け(本係止作業)	
5 ダミー栓の装着方法	P. 26
6 カバー取付け方法	P. 27
7 レバー取付け方法	P. 31
8 筐体とオスアウターハウジングの組付け	P. 32
9 オスインナーハウジングの組付け	P. 33
10 コネクタのかん合・離脱	P. 34
10-1. コネクタのかん合	
10-2. コネクタの離脱	
11 カバー取り外し	P. 36
11-1. ロアカバー取外し作業方法	
11-2. アッパーカバー取外し作業方法	

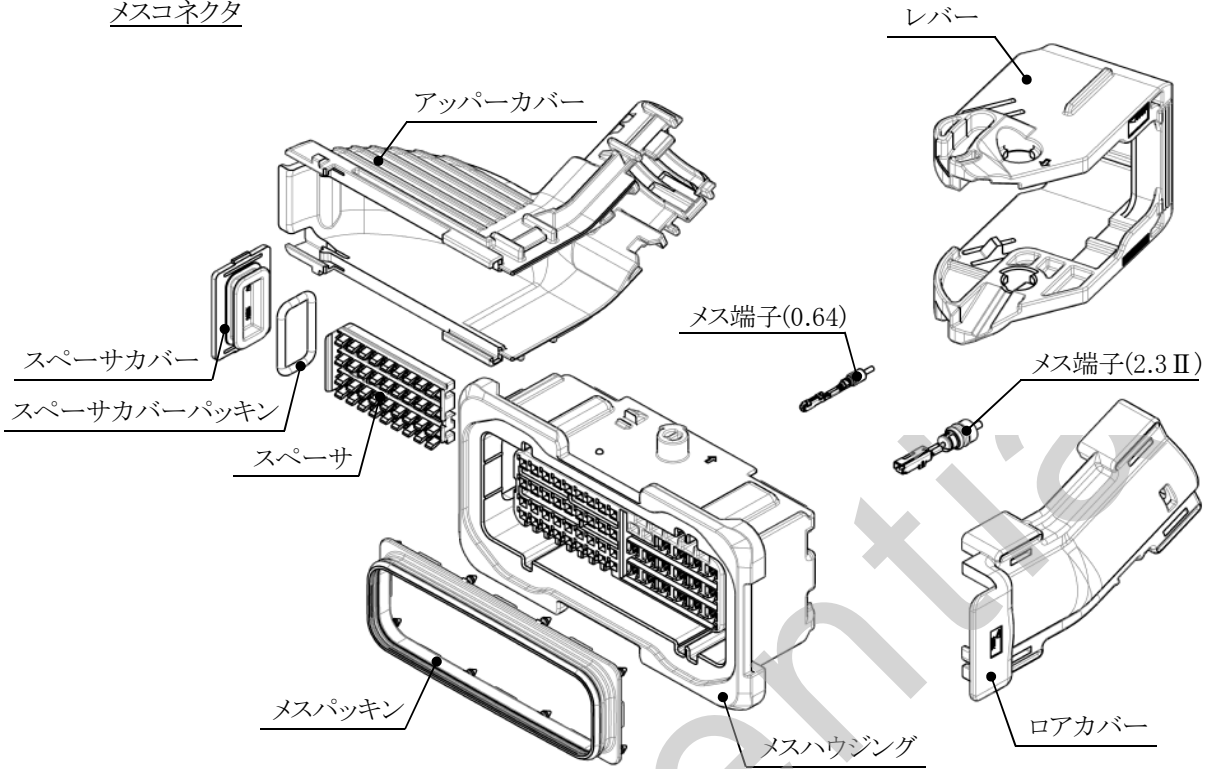
目 次

12 インナーハウジングの取り外し	・ ・ ・ ・ ・	P. 38
13 端子・スペーサの取り外し	・ ・ ・ ・ ・	P. 39
13-1. メススペーサ、メス端子、カバーロック解除治具		
13-2. メス端子(0.64)抜き治具		
13-3. メススペーサの本係止解除		
13-4. メス端子(0.64)取り外し		
13-5. メス端子(2.3Ⅱ)取り外し		
14 ワイヤハーネスの配策、外装テープ巻き	・ ・ ・ ・ ・	P. 43
14-1. ワイヤハーネスの配策方法		
14-2. ワイヤハーネスの外装テープ巻き方法		
15 導通検査	・ ・ ・ ・ ・	P. 44
15-1. チェッカー治具での検査方法		
16 ワイヤハーネス梱包、取り出し	・ ・ ・ ・ ・	P. 45
16-1. ワイヤハーネス梱包方法		
16-2. ワイヤハーネス取り出し方法		
別紙 品番一覧表	・ ・ ・ ・ ・	別紙 1～10

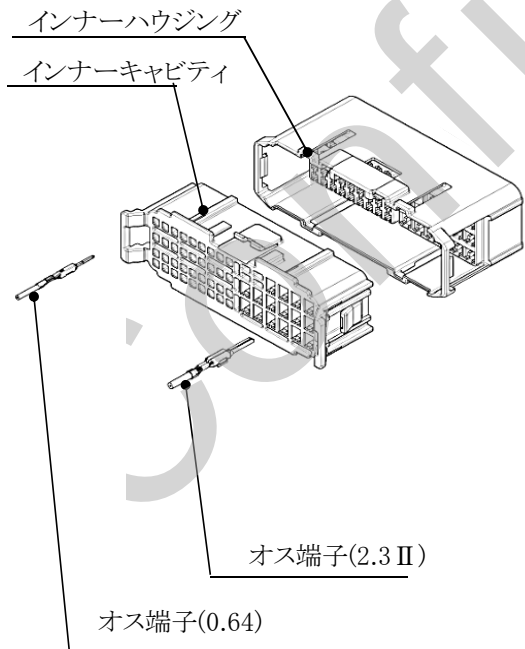
1 部品の名称と機能

1-1. 部品名称

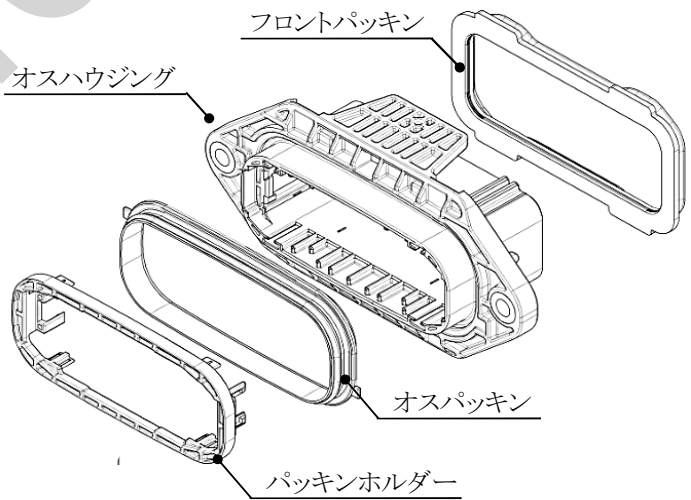
メスコネクタ



オスインナーハウジング



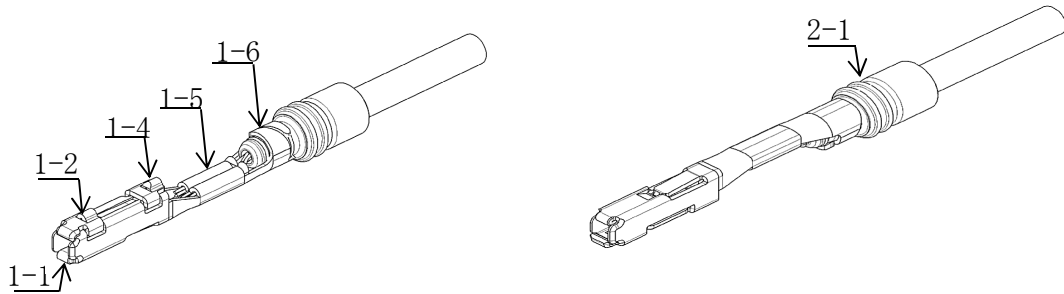
オスアウターハウジング



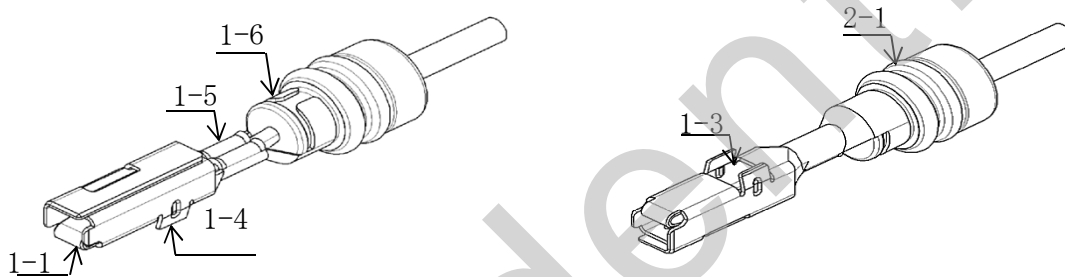
1-2. 部品名称と機能

1-2-1. メス端子(0.64, 2.3Ⅱ)

0.64



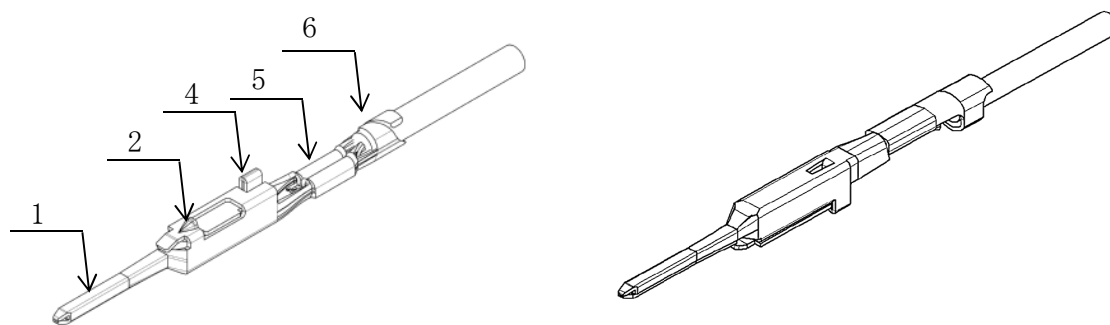
2.3Ⅱ



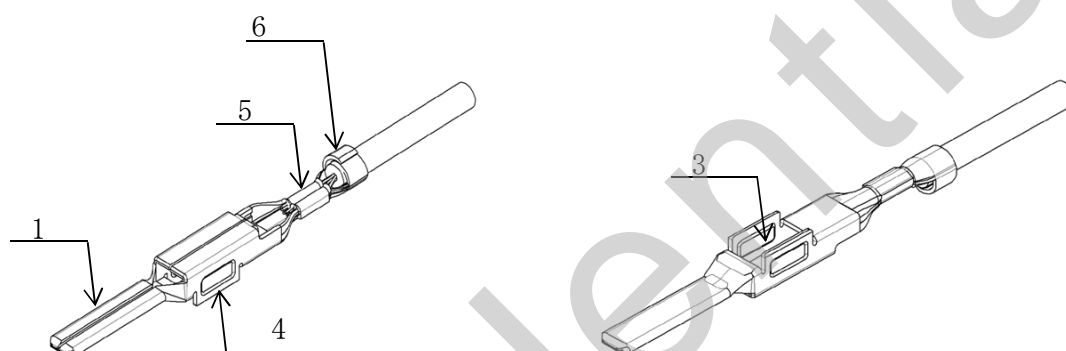
No.	名称		機能	
1	メス端子	1-1	バネ	オス端子との接触
		1-2	フック	メスハウジングとの係止
		1-3	ランスホール	メスハウジングとの係止
		1-4	スタビライザ	メスハウジングへの逆挿入防止
		1-5	ワイヤーバレル	芯線圧着
		1-6	インシュレーションバレル	絶縁体とゴム栓圧着
2	ゴム栓	2-1	リップ部	電線とハウジング間の止水

1-2-2. オス端子(0.64、2.3Ⅱ)

0.64

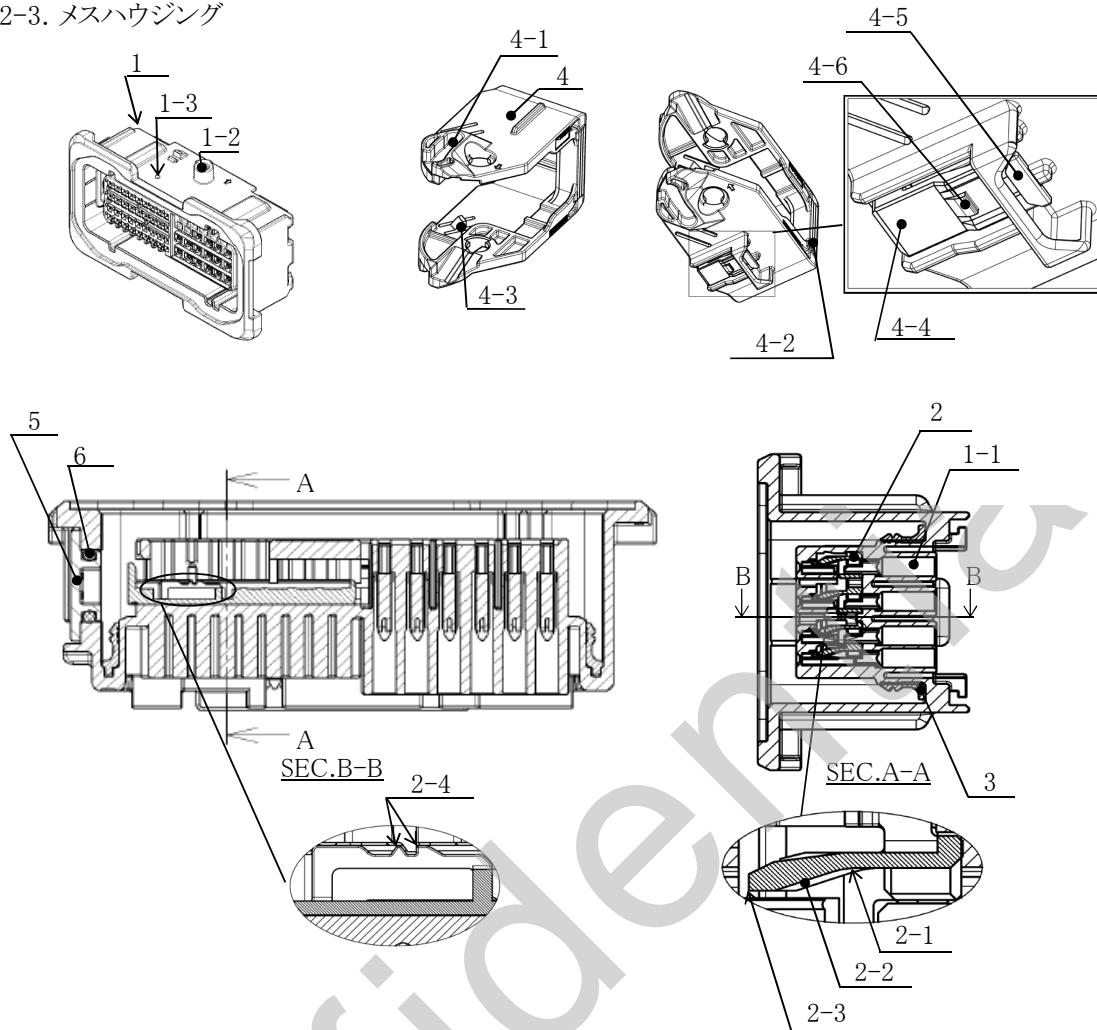


2.3Ⅱ



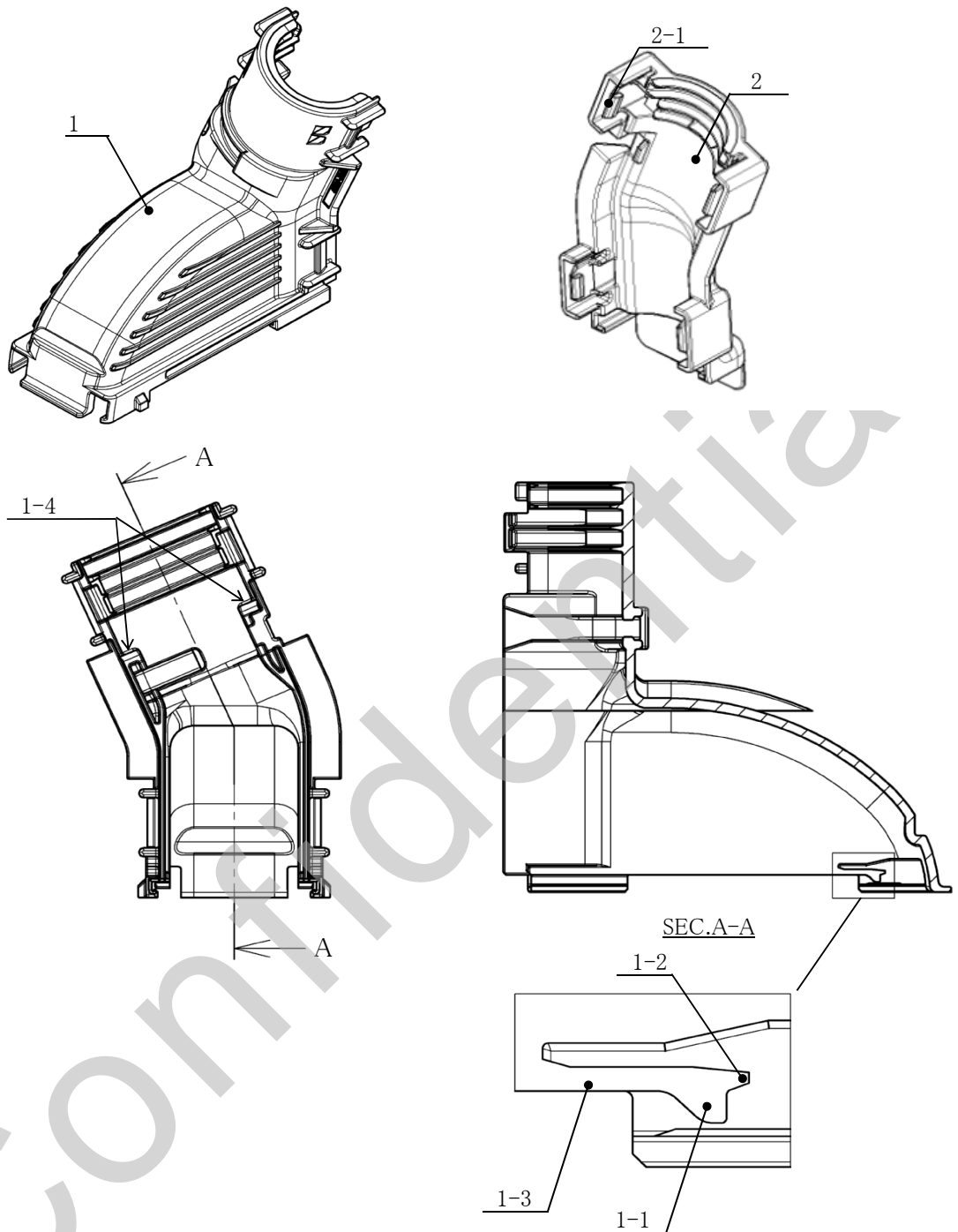
No.	名称	機能
1	オスタブ	メス端子との接触
2	フック	オスハウジングとの係止
3	ランスホール	オスハウジングとの係止
4	スタビライザ	オスハウジングへの逆挿入防止
5	ワイヤバレル	芯線圧着
6	インシュレーションバレル	絶縁体圧着

1-2-3. メスハウジング



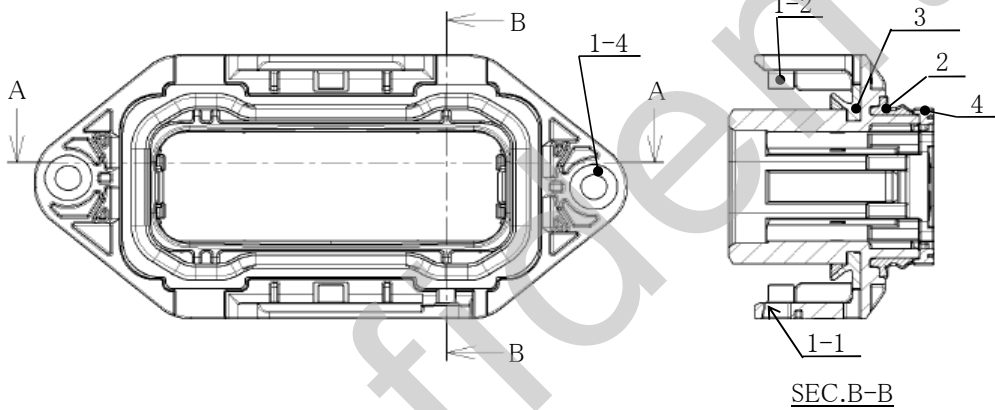
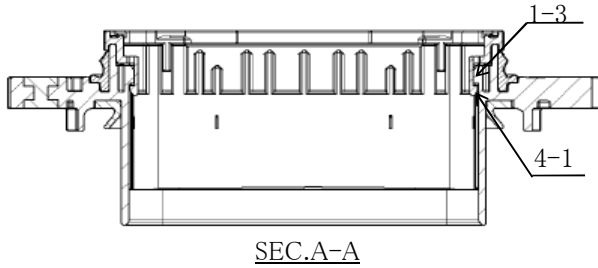
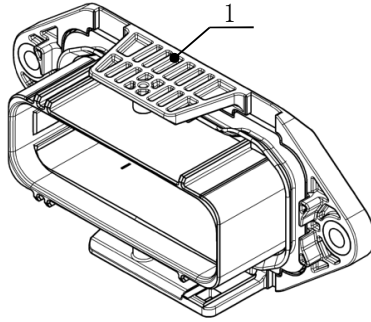
No.	名称		機能	
1	メスハウジング	1-1	キャビティ	端子収容部
		1-2	ボス	支点
		1-3	係止突起	輸送時のレバーとの係止
2	スペーサ	2-1	ランスキー	ランスビークの解除操作
		2-2	ランスアーム	メス端子の挿入離脱の可撓部
		2-3	ランスビーク	メス端子との係止
		2-4	ロックビーク	メスハウジングとの係止
3	パッキン		オス・メスハウジング間の止水	
4	レバー	4-1	溝部	作用点
		4-2	レバー操作部	力点
		4-3	ロックビーク	メスハウジングとの係止
		4-4	ハウジングロック	オスハウジングとの係止と解除
		4-5	ロックキー	ロックビークの解除操作
		4-6	ロックビーク	オスハウジングとの係止
5	スペーサカバー		スペーサカバーパッキンの保護	
6	スペーサカバーパッキン		メスハウジングの止水	

1-2-4. メスカバー



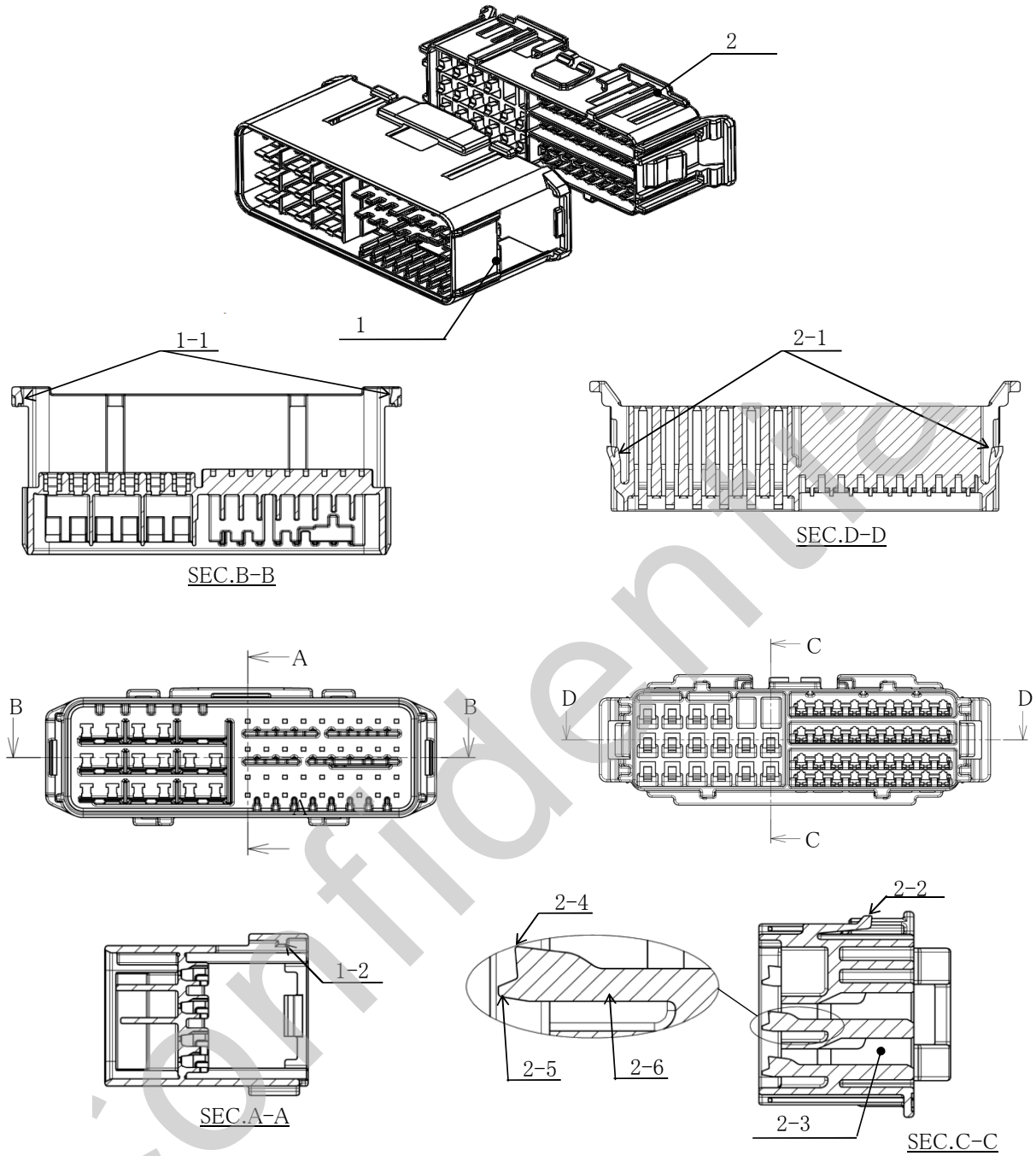
No.	名称		機能
1	アッパーカバー	1-1 ランスピーク	メスハウジングとの係止
		1-2 ランスキー	カバーランスの解除操作
		1-3 ランスアーム	メスハウジングの挿入離脱の可撓部
		1-4 コルゲート係止壁	コルゲート飛出し防止壁
2	ロアカバー	2-1 ロックビーク	アッパーカバーとの係止

1-2-5. オスアウターハウジング



No.	名称		機能	
1	アウターハウジング	1-1	ハウジングロック	メスハウジング(レバーロックビーク)との係止
		1-2	ボス	支点
		1-3	ロック	パッキンホルダーとの係止
		1-4	カラー	筐体取り付け部へのねじ締め固定
2	パッキン		オスハウジング・筐体間の止水	
3	フロントパッキン		オス・メスハウジング間の止水	
4	パッキンホルダー	4-1	ロック	オスハウジングとの係止

1-2-6. オスインナーハウジング



No.	名称		機能	
1	インナーハウジング	1-1	ロック	インナーキャビティとの仮係止
		1-2	ロック	インナーキャビティとの本係止
2	インナーキャビティ	2-1	ロック	オスアウターハウジングとの本係止 インナーハウジングとの仮係止
		2-2	ロックビーク	オスインナーハウジングとの本係止
		2-3	キャビティ	端子収容部
		2-4	ランスビーク	オス端子との係止
		2-5	ランスキー	ランスビークの解除操作
		2-6	ランスアーム	オス端子の挿入離脱の可撓部

2 製品の受入れ、運搬、保管

2-1. 製品受入れ時の検査方法

製品受入時には、下記項目について検査を行って下さい。

- 1) 端子
 - ・ 異物、異品の混入
 - ・ バリ、クラック、変形、傷
 - ・ 変色、錆、汚れ、めっき剥がれ
 - ・ 端子同士の絡み、リールからのほつれ
- 2) ハウジング(パッキン、スペーサ、レバーを含む)、カバー、ゴム栓、防水栓
 - ・ 異物、異品の混入
 - ・ バリ、ヒケ、ダレ、欠け、クラック、ショートショット、変形、傷

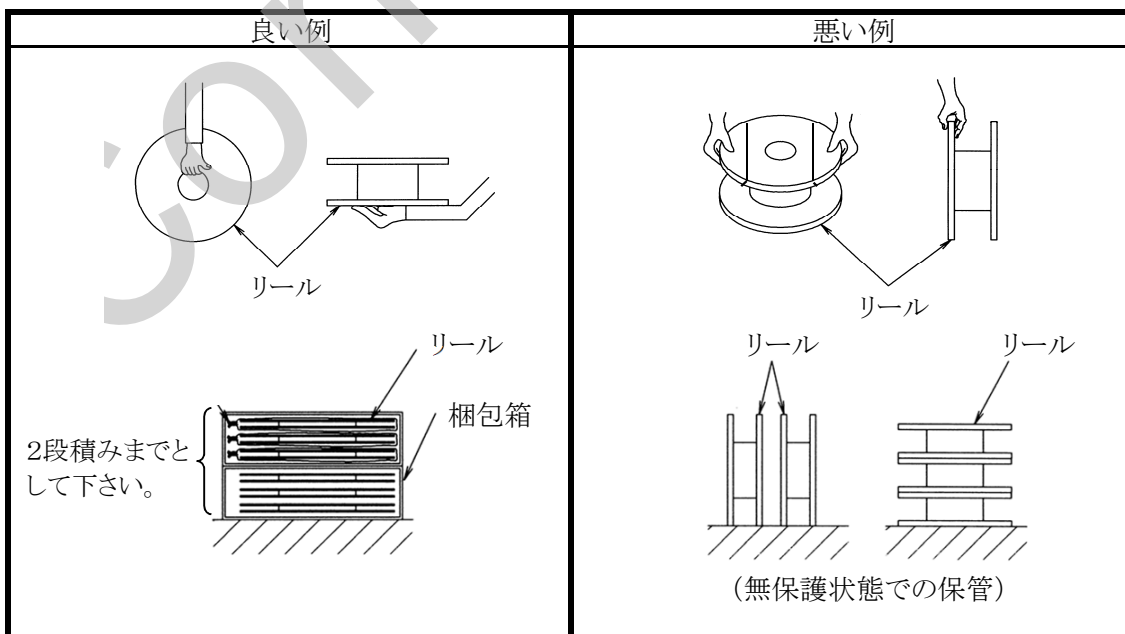
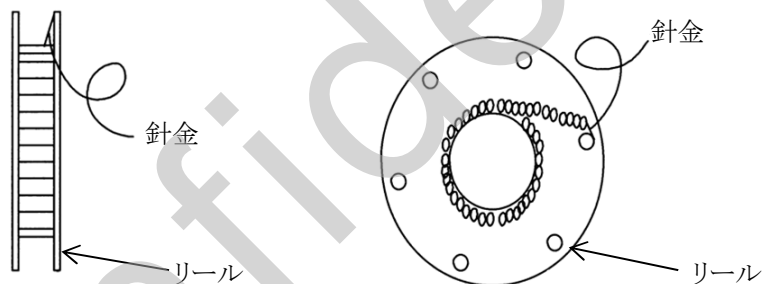


・ 上記項目に異常がある場合は、使用しないで下さい。
 ※製品と注文内容に相異、破損がある場合は、弊社営業担当にお問い合わせ下さい。

2-2. 製品の運搬、保管方法

変形や損傷を防ぐ為に、各部品の運搬・保管には次の内容を推奨します。
 また、組立て工程等での製品使用環境・組付け条件の下での安全な取扱いにつきましては、適時弊社担当にお問い合わせ下さい。

- 1) 端子
 端子は、リールからのほつれを防ぐため、針金などでしっかりとリールに固定して下さい。
 運搬・保管は、下記の方法で行って下さい。





下記項目を守られなく、製品の変形、変色、破損した場合
または、使用期限が過ぎた場合、製品を使用しないで下さい。

運搬について

- ・ リールは紙製なので、破損しないように注意して下さい。
- ・ 運搬時の衝撃を避けるため、梱包(保護)して下さい。
梱包時には、部品が変形や損傷を受けることがないように十分注意して下さい。
- ・ 落下などによる、強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。

保管について

- ・ 端子(リール)は、運搬時に使用する梱包箱に入れて保管して下さい。
特に水、埃、油、有毒ガスから保護して、無保護状態で保管しないで下さい。
- ・ 端子(リール)は、直射日光を避け、室内で保管して下さい。
- ・ 端子(リール)は、高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
(使用期限は、5～35℃、45～85%RHの環境下にて、製造日より1年です)

2) ハウジング(パッキン、スペーサ、レバーを含む)、カバー、ゴム栓、防水栓



下記項目を守られなく、製品の変形、変色、破損した場合
または、使用期限が過ぎた場合、製品を使用しないで下さい。

運搬について

- ・ 運搬時の衝撃を避けるため、梱包(保護)して下さい。
梱包時には、部品が変形や損傷を受けることがないように十分注意して下さい。
- ・ 落下などによる、強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。

保管について


- ・ 部品は、運搬時に使用する梱包箱に入れて保管して下さい。
特に水、埃、油、有毒ガスから保護して、無保護状態で保管しないで下さい。
- ・ 部品は、直射日光を避け、室内で保管して下さい。
- ・ 部品は、高温高湿の場所を避けて保管して下さい。
(使用期限は、5～35℃、45～85%RHの環境下にて、製造日より1年です)
- ・ 保管中は外部から力が加わらない様にして下さい。
- ・ 落下などによる、強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。

3. 端子圧着

下記内容については、弊社の圧着型を使用した場合の参考として記載します。

3-1. 圧着規格

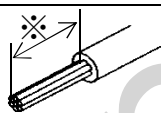
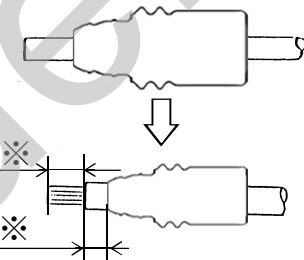
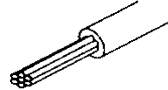
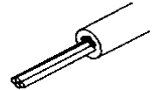
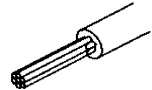
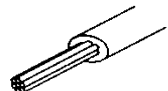
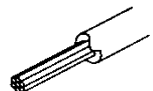
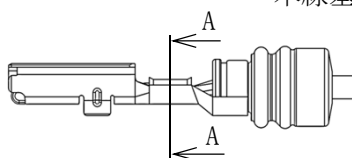

圧着規格については、必要に応じて弊社営業担当にお問合せ下さい。

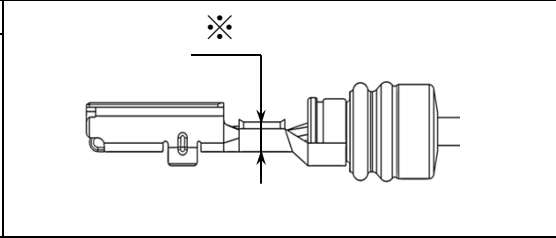
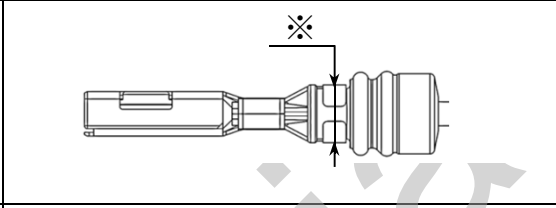
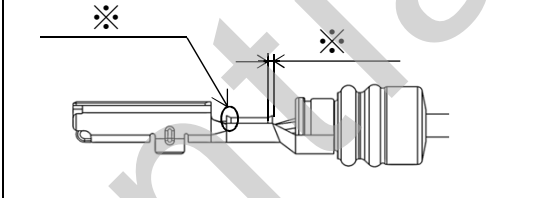
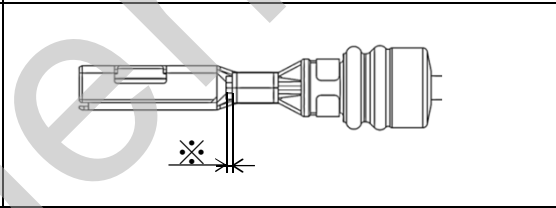
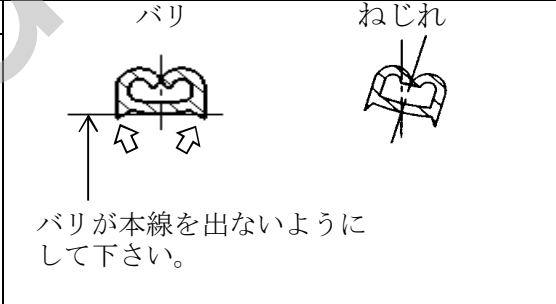
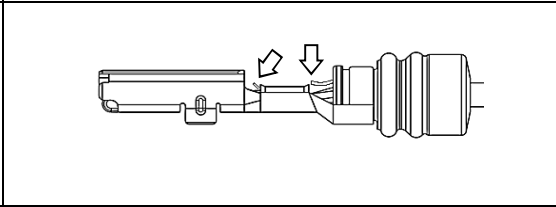
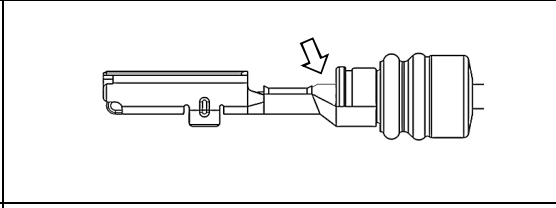
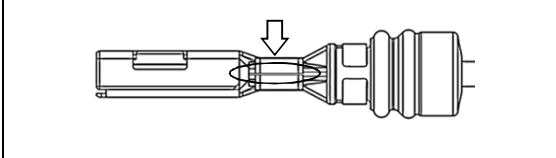
 注意	圧着規格を外れた圧着を行った場合、導通不良の恐れがある為製品を使用しないで下さい。
---	---

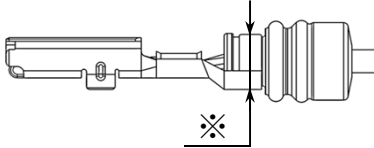
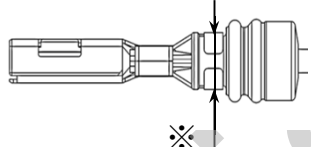
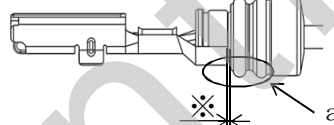
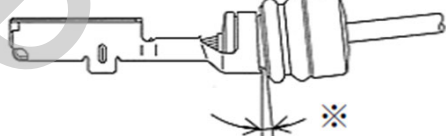
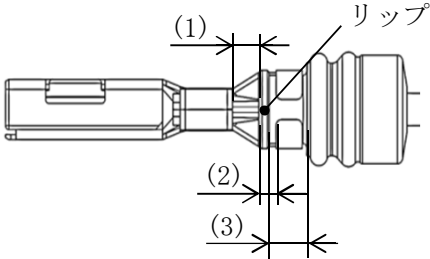
3-2. 端子圧着時のチェック項目

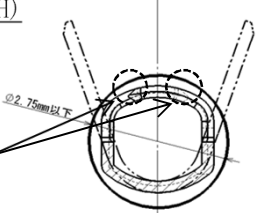
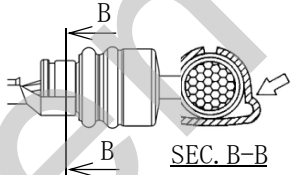

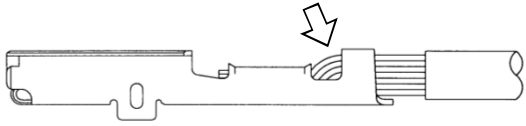
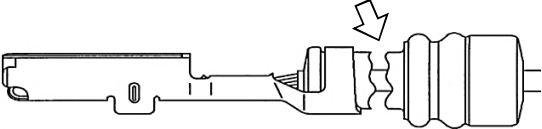
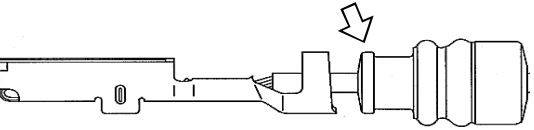
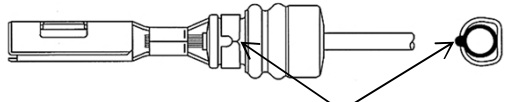
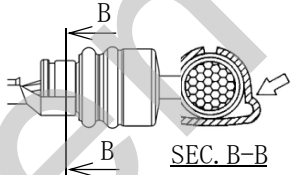

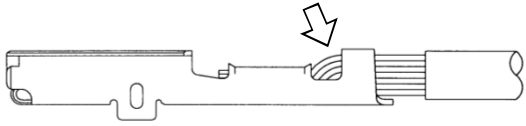
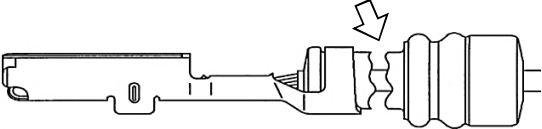
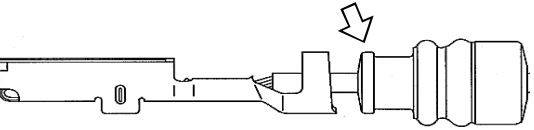
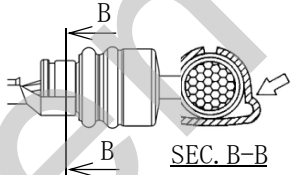

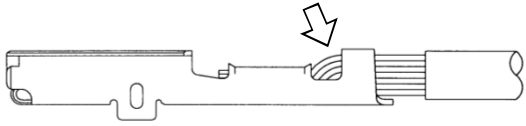
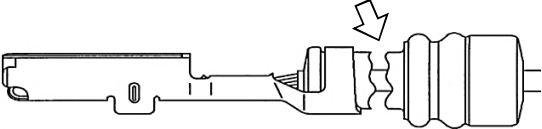
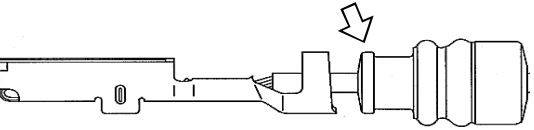
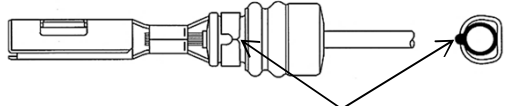
端子圧着時には、下記の項目を確認して下さい。

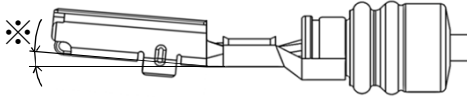
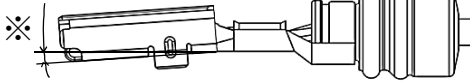
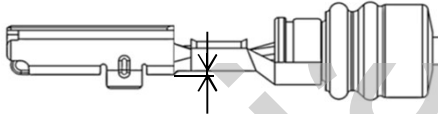
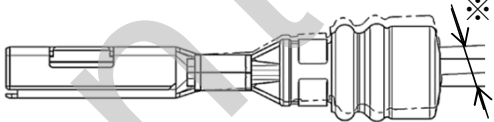

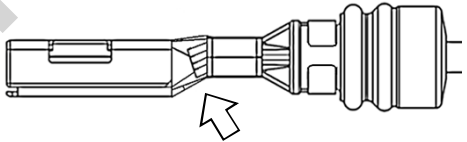
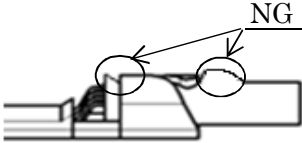
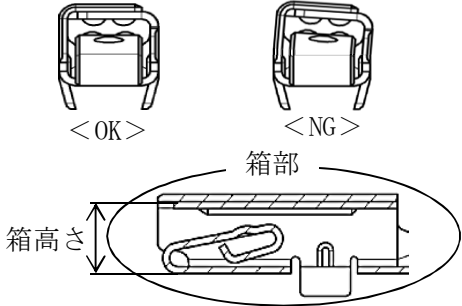
※部の参考値については、弊社営業担当にお問い合わせ下さい。

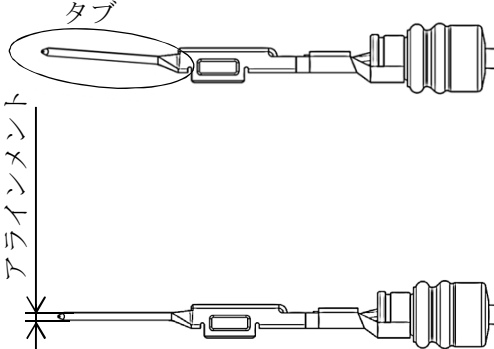
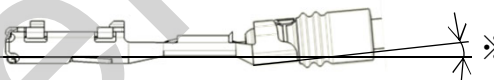
部位	チェック項目	
1. 電線	正常状態	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">電線皮むき</div> <div style="text-align: center;">  正常状態 </div> </div> <hr/> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  ※ </div> <div style="margin-left: 10px;"> 電線皮むきは ゴム栓への 電線挿入後に実施 </div> </div>
	異常状態	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">電線皮むき</div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  1) 芯線の 斜め切断 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  2) 芯線切れ </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  3) 芯線傷 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  4) 絶縁体の 斜め切断 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px;">  5) 絶縁体の 切断不良 </div> </div> </div>
2. ワイヤー バレル	正常圧着状態	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  A A </div> <div style="margin-left: 20px;"> 本線基準に左右対象  SEC. A-A </div> </div>

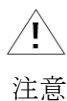
部位	チェック項目	
2. ワイヤー バレル	正常圧着状態	<div data-bbox="596 344 804 551">クリンプ ハイト</div>  <div data-bbox="596 551 804 757">クリンプ ワイド</div>  <div data-bbox="596 757 804 954">ベルマウス</div>  <div data-bbox="596 954 804 1160">芯線飛び出し 長さ</div> 
	異常圧着状態	<div data-bbox="596 1189 804 1462">バリ及び ねじれ</div>  <p data-bbox="836 1368 1171 1429">バリが本線を出ないように して下さい。</p> <div data-bbox="596 1462 804 1668">芯線ほつれ</div>  <div data-bbox="596 1668 804 1874">ワイヤー バレルによる 絶縁体圧着 状態</div>  <div data-bbox="596 1874 804 2031">導体見え</div> 

部位	チェック項目		
3. インシュレーションバレル	正常圧着状態	クリンプ ハイト	
		クリンプ ワイド	
		つなぎ出し 長さ	 <p>a部が傷付いていないことを確認して下さい。</p>
		ゴム栓の傾き	
	正常圧着状態	ゴム栓の位置	 <p>(1) 絶縁体がこの間にあることを確認して下さい (2) ゴム栓リップがこの間にあることを確認して下さい (3) インシュレーションバレルがこの間にあることを確認して下さい</p>

部位	チェック項目												
3. インシュレーション バレル	正常圧着状態	<p data-bbox="601 353 715 385">圧着形状</p> <p data-bbox="815 439 1075 465">0.64W(3.60mm PITCH)</p>  <p data-bbox="823 678 1361 705">φ2.75mmの円に入るように圧着して下さい。</p>											
	異常圧着状態	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="601 931 804 1088">しわ</td> <td data-bbox="809 931 1361 1088">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="601 1095 804 1296">変形</td> <td data-bbox="809 1095 1361 1296">  <p data-bbox="1086 1133 1342 1256">インシュレーションバレルに座屈、変形のある物は不可</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="601 1303 804 1494">絶縁体圧着不足による絶縁体落ち</td> <td data-bbox="809 1303 1361 1494">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="601 1500 804 1668">ゴム栓の傷、切れ</td> <td data-bbox="809 1500 1361 1668">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="601 1675 804 1843">被覆圧着不足によるゴム栓落ち</td> <td data-bbox="809 1675 1361 1843">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="601 1850 804 2000">ゴム栓噛込み</td> <td data-bbox="809 1850 1361 2000">  </td> </tr> </table>	しわ		変形	 <p data-bbox="1086 1133 1342 1256">インシュレーションバレルに座屈、変形のある物は不可</p>	絶縁体圧着不足による絶縁体落ち		ゴム栓の傷、切れ		被覆圧着不足によるゴム栓落ち		ゴム栓噛込み
しわ													
変形	 <p data-bbox="1086 1133 1342 1256">インシュレーションバレルに座屈、変形のある物は不可</p>												
絶縁体圧着不足による絶縁体落ち													
ゴム栓の傷、切れ													
被覆圧着不足によるゴム栓落ち													
ゴム栓噛込み													

部位	チェック項目	
4. 圧着による端子の変形	1) ベンドアップ	
	2) ベンドダウン	
	3) ワイヤーバレルの段付き	 <p>・目視で段付きが認められるものは使用できません。</p>
	4) ツイスト	
	5) ローリング	
	6) 送り不良	
	7) 被覆盛り上がり	
4. 圧着による端子の変形	8) 箱の変形 (メス端子)	 <p>・箱部に変形があるものは使用できません。</p> <p>・新規採用、変化点発生時 圧着前と後で箱高さ寸法を測定し、寸法変化が無いことを確認すること。</p>

部位	チェック項目	
4. 圧着による端子の変形	9) タブの変形 (オス端子)	 <ul style="list-style-type: none"> ・箱部に目視で変形が認められるものは使用できません。 ・新規採用、変化点発生時 圧着前と後でアライメント寸法を測定し、寸法変化が無いことを確認すること。
	10) インシュレーションバレルの変形	



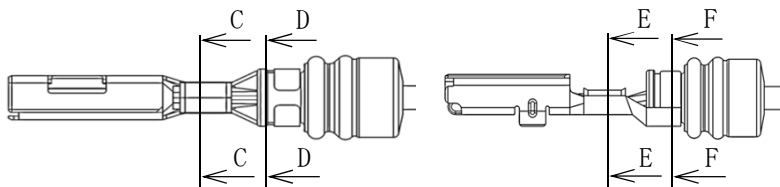
注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損、傷がついた場合は、導通不良、シール性低下の恐れがある為、新しい製品と交換して下さい。

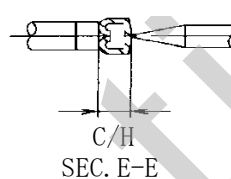
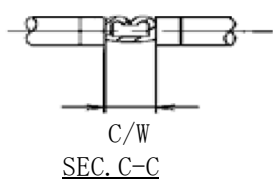
- ・ゴム栓の挿入は皮むき前に行って下さい。
- ・皮むきした電線は、すぐに圧着作業を行って下さい。
- ・皮むきした電線を、素手で触らないで下さい。
- ・すぐに組付けない場合には、皮むき部を清潔なビニール袋などで保護して下さい。
- ・皮むきした電線の移動や保管は、芯線がほつれないように配慮して下さい。
- ・圧着機を新規/変更で使用する場合には、圧着前後でタブ厚、箱部高さ等に寸法の変化がないことを確認して下さい。

3-3. 圧着部の測定方法

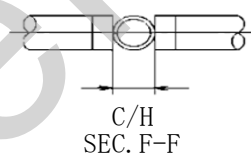
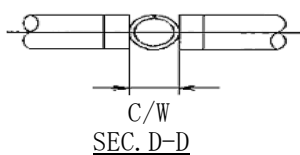
芯線圧着部及び絶縁体圧着部の寸法は、それぞれの加締め足中央を測定して下さい。



ワイヤーバレル：マイクロメータを用いて、下図のように挟んで測定して下さい。



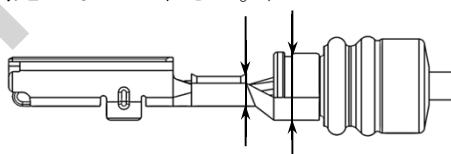
インシュレーションバレル：マイクロメータを用いて、下図のように挟んで測定して下さい。



注意

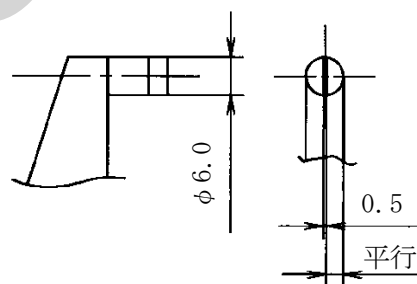
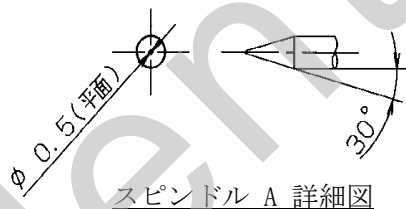
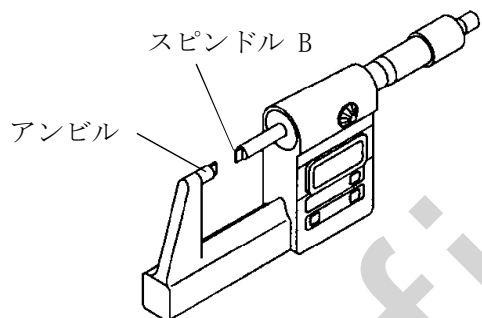
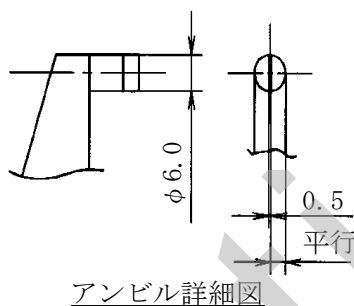
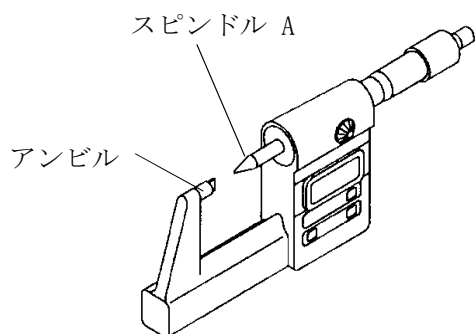
下記項目を守られなく、圧着部寸法が外れた場合、再測定して下さい。

- ・ C/Hは、下図の箇所では測定しないで下さい。
(段差のある部分では測定しないで下さい。)



3-4. 圧着部の測定器

- ・マイクロメータを使用して測定して下さい。
- ・マイクロメータは、下記仕様のアンビル、及びスピンドルを使用して下さい。
- ・マイクロメータは、スタンドに固定して使用して下さい。



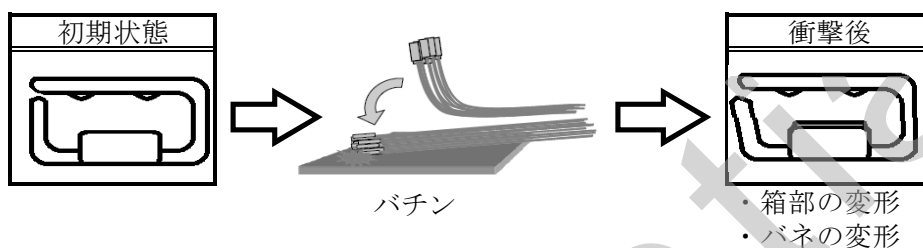
測定箇所	使用部品
ワイヤーバレル クリンプハイト	スピンドル A
ワイヤーバレル クリンプワイド	スピンドル B
インシュレーションバレル クリンプハイト	
インシュレーションバレル クリンプワイド	

3-5. 端子圧着済品の運搬



下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、導通不良の恐れがある為、新しい製品と交換して下さい。

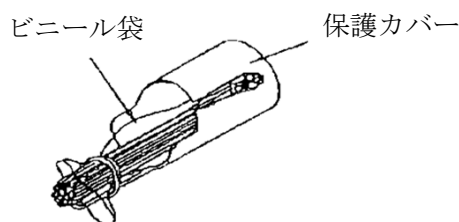
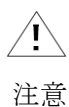
- ・運搬は、線架台又は蓋付きのポリケース通い箱にて行い、端子圧着済品を積み重ねしないで下さい。
- ・衝撃を与えるような、投げ込みや、投げ降しは絶対にしないで下さい。(下図参照)



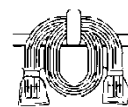
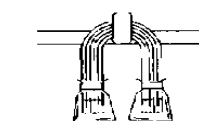
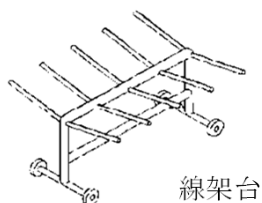
3-6. 端子圧着済品の保管

端子圧着後は速やかにハウジングに組付けて下さい。
但しすぐに組付けない場合、下記項目を守って下さい。

- ・ばらばらにならないようにゴムなどで束ねて下さい。
- ・束ねる時に、端子先端を叩いて揃えないで下さい。
やむなく当てる場合は当てる面にラバー等の緩衝材を置いて下さい。
- ・運搬、保管の際は圧着部にビニール袋、保護カバーを使用し、ハウジングに組付ける直前までビニール袋、保護カバーを外さないで下さい。



- ・線架台に掛ける際は、端子先端が地面につかないよう、留意して下さい。



4. ハウジングと端子・スペーサの組付け

4-1. ハウジングへのメス端子挿入方法

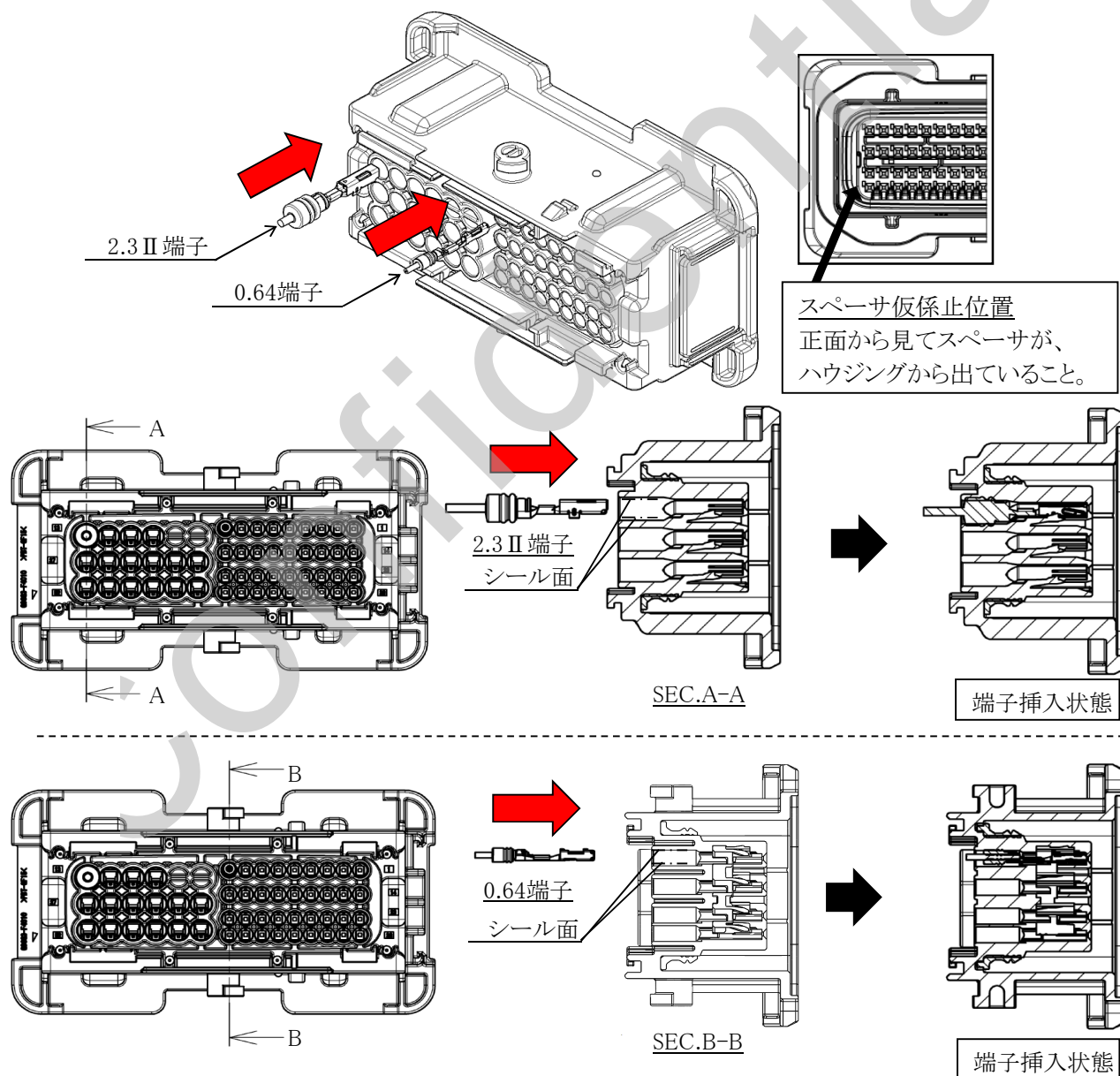
- 端子の挿入前にスペーサが仮係止位置にあることを確認して下さい。
スペーサが仮係止位置でない時は、仮係止位置に戻してから作業を行って下さい。
- 端子に変形や損傷がないか確認して下さい。
- 下図のように端子とハウジングの向きを合わせ、端子をハウジングに挿入して下さい。
端子が係止する時の「パチン」という音を確認して下さい。
- 電線を軽く引っ張って、端子が確実に係止されていることを確認して下さい。



注意

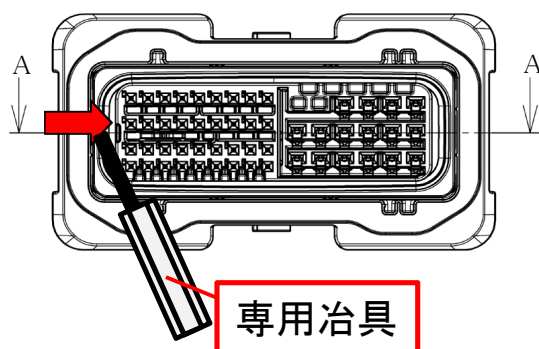
下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、
コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- 端子金めつき部(接触部)は、むやみに触れないで下さい。
- 端子及びゴム栓にゴミ、糸屑の付着が無い事を確認して下さい。
- 端子スタビライザでシール面を傷つけないようにして下さい。
- 断線の原因となりますので、電線はしごいて伸ばさないようにして下さい。
- 端子挿入時に端子に変形や損傷が無い事を確認して下さい。

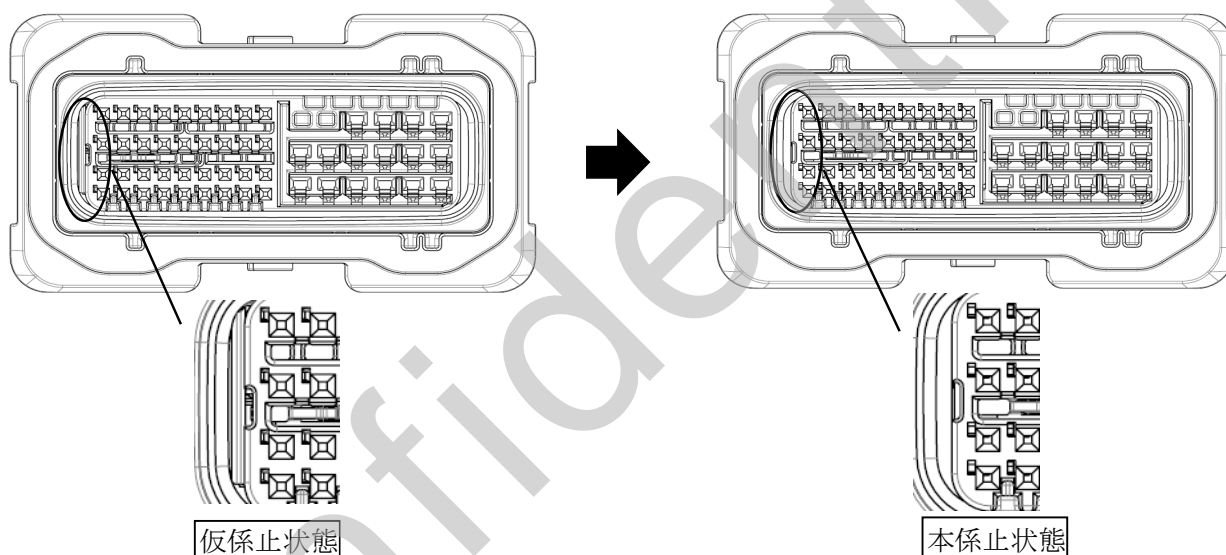


4-2. メススペーサの組付け(本係止作業)

- 1) 端子挿入後、専用治具を使用し、かん合面側からスペーサを押し、本係止位置に動かして下さい。



- 2) スペーサが確実に本係止されていることを確認して下さい。



注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- 下記の状態にある場合、スペーサを本係止出来ません。
 - * 端子がキャビティ内へ完全に挿入されていない。(端子半挿入状態)
 - * 端子が誤方向で挿入されている。(端子逆挿入状態)
- 無理に押し込まないでください。

4-3. インナーキャビティへのオス端子挿入

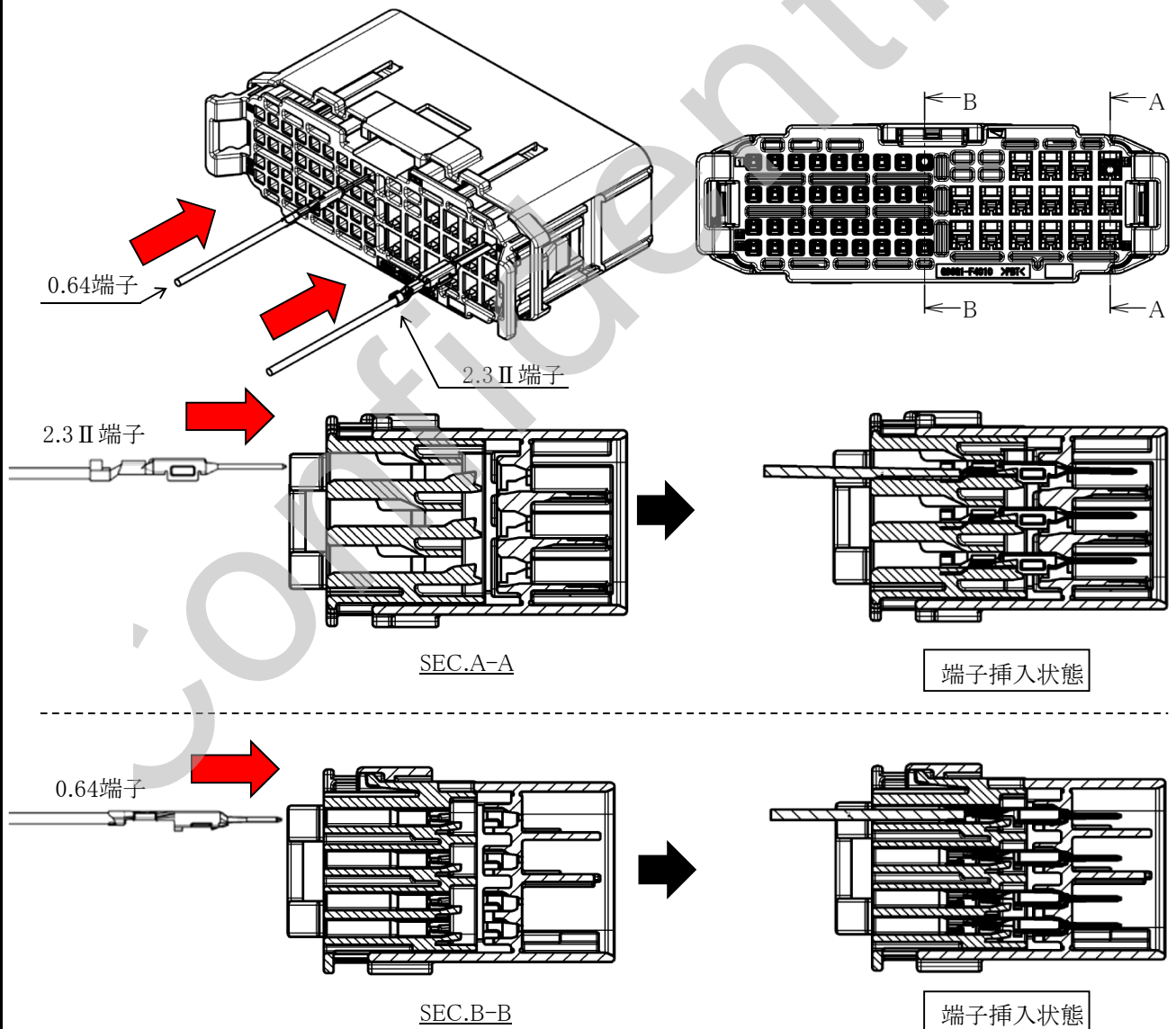
- 端子の挿入前にインナーキャビティが仮係止位置にあることを確認して下さい。
インナーキャビティが仮係止位置でない時は、仮係止位置に戻してから作業を行って下さい。
- 端子に変形や損傷がないか確認して下さい。
- 下図のように端子とインナーキャビティの向きを合わせ、端子をインナーキャビティに挿入して下さい。
端子に係止する時の「パチン」という音を確認して下さい。
- 電線を軽く引っ張って、端子が確実に係止されていることを確認して下さい。



注意

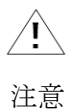
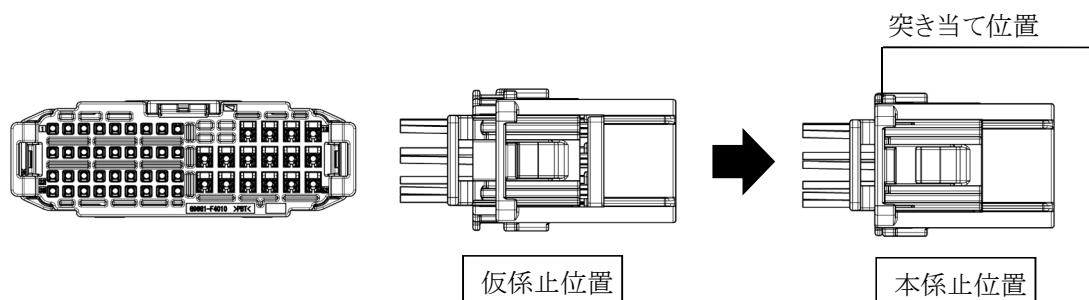
下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- 端子金めつき部(接触部)は、むやみに触れないで下さい。
- 端子にゴミ、糸屑の付着が無い事を確認して下さい。
- 端子スタビライザでキャビティを傷つけないようにして下さい。
- 断線の原因となりますので、電線はしごいて伸ばさないようにして下さい。
- 端子挿入時に端子に変形や損傷が無い事を確認して下さい。
- 電線を引っ張った状態で作業を終えてください。端子を押し込んだ状態で本係止位置へ動かすと、インナーキャビティのランスが破損する可能性があります。



4-4. インナーキャビティの組付け(本係止作業)

- 端子挿入後、インナーキャビティを突き当てまで押し、本係止位置に動かして下さい。

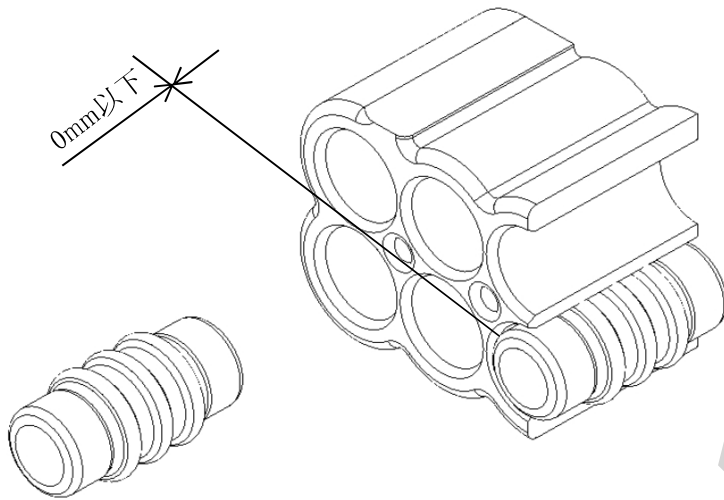


注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- 下記の状態にある場合、本係止操作力が上昇します。
 - * 端子がキャビティ内へ完全に挿入されていない。(端子半挿入状態)
 - * 端子が誤方向で挿入されている。(端子逆挿入状態)
- 端子半挿入状態の時、無理に本係止位置まで押し込むと、ハウジングランスを破壊しながら本係止位置へ動きます。
- 無理に押し込まないでください。

5. ダミー栓の装着方法及び注意事項
図の様にダミー栓を挿入して下さい。

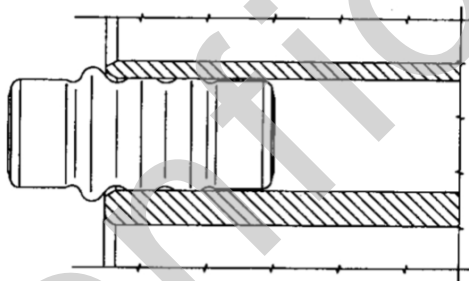


下記項目を守られない場合、シール性低下の恐れがある為、再度ダミー栓を挿入して下さい。

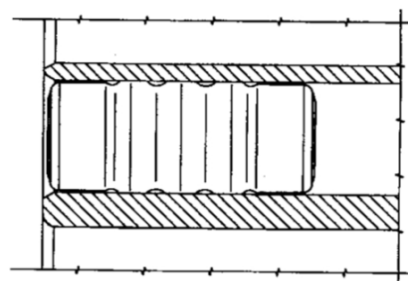
- ・ダミー栓後端がハウジング後端から飛び出していないことを確認して下さい。(0mm以下)



<NG>



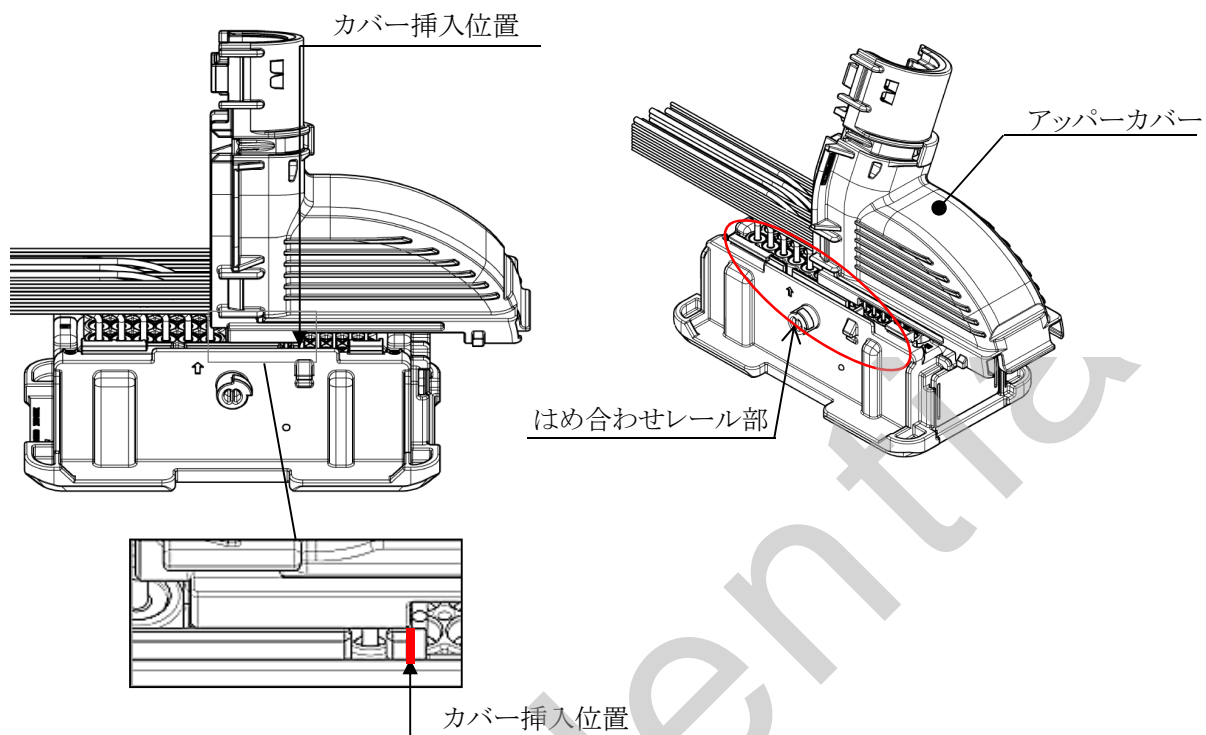
<OK>



6.カバー取付け方法

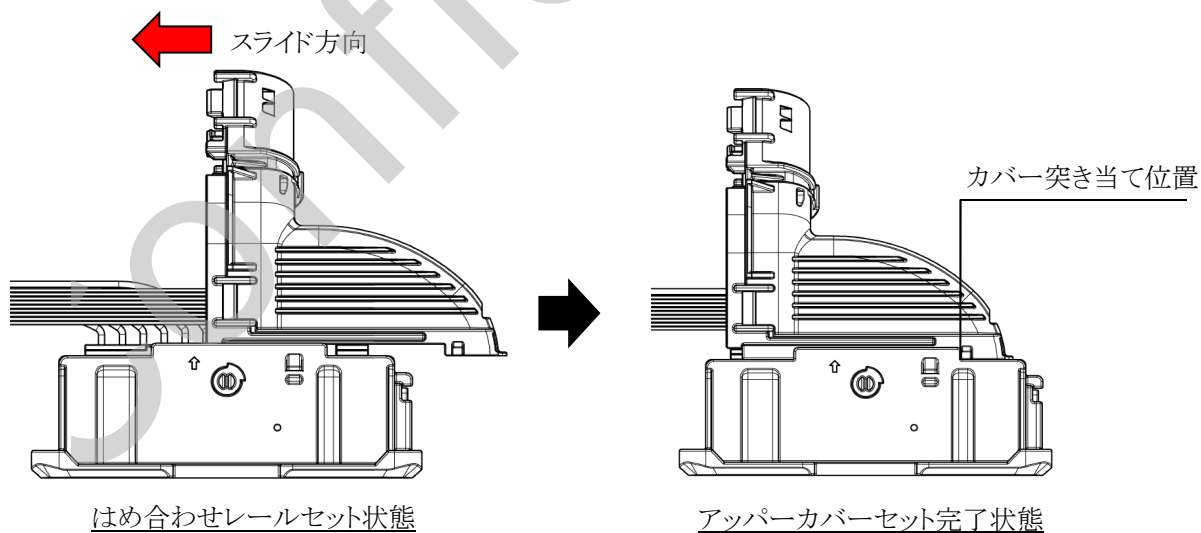
1) 下図の様にカバーはめ合わせレールにアッパーカバーを合わせて下さい。

- アッパーカバーを図のカバー挿入位置からセットして下さい。
その際に電線を噛み込まないように注意して下さい。

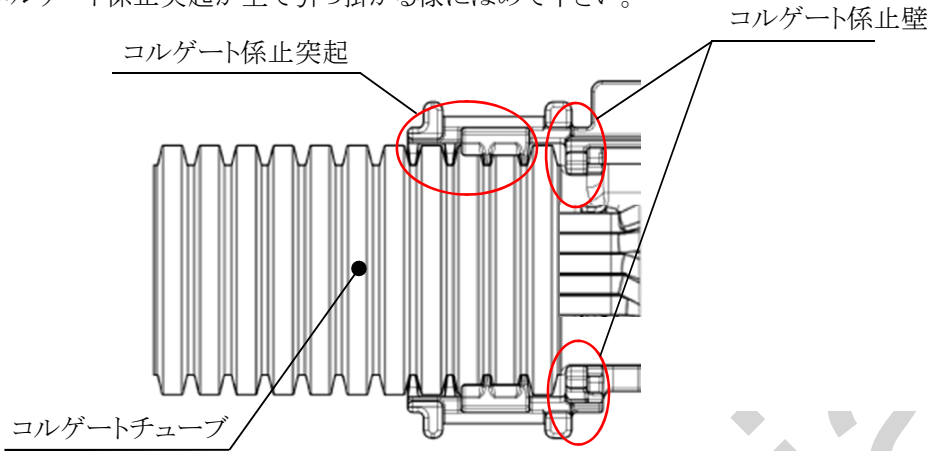


2) アッパーカバーの挿入位置へのセット後、スライド方向に引張って下さい。

その際、コルゲート係止壁の間を電線が通過する様にして下さい。



- 3) コルゲートチューブをカバーにセットして下さい。
 ・ コルゲートチューブをコルゲート係止壁に突き当て、
 コルゲート係止突起が全て引っ掛かる様にはめて下さい。



下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、
 コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

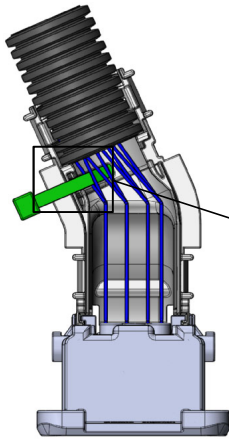
- ・ コルゲートチューブは3山以上～5山以下がカバー内に入る様にセットして下さい。

⚠
 注意

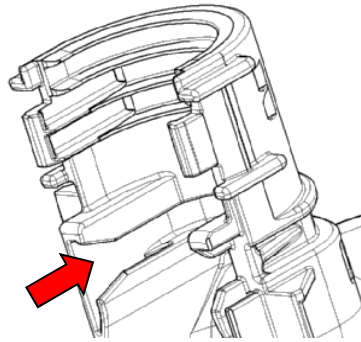
OK		3山以上 5山以下
NG		5山超 (電線規制壁 を越えている)
NG		3山未満

4) タイバンドを取付けて下さい。

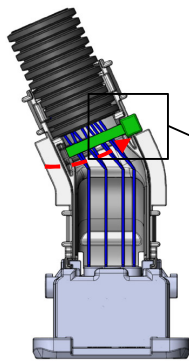
- ・ タイバンドの向きに注意して挿入して下さい。
- ・ タイバンドは3.5mm幅を使用すること。(使用タイバンド品番:7047-7539-30)



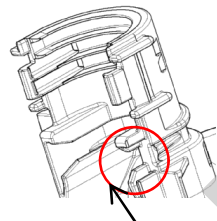
①タイバンド挿入



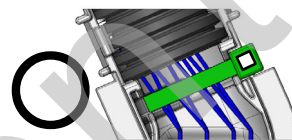
タイバンド挿入方向



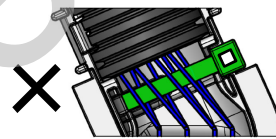
②タイバンドヘッド固定



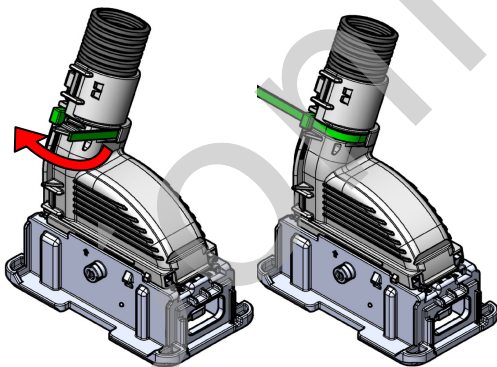
タイバンドヘッド固定位置



タイバンドに電線が
収まっている

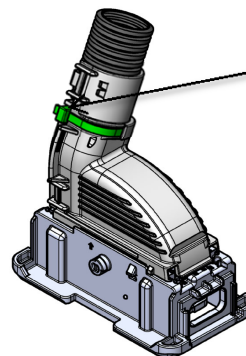


タイバンドに電線が
収まっていない



③タイバンド仮締め

タイバンド先端をヘッドの穴に通して
仮締めしてください



④タイバンド締め付け+カット

バンドガンを使用しタイバンド締め付け、
余分なバンドをカットしてください。

タイバンドカット後、
バンドヘッドが固定位置に
収まっている事

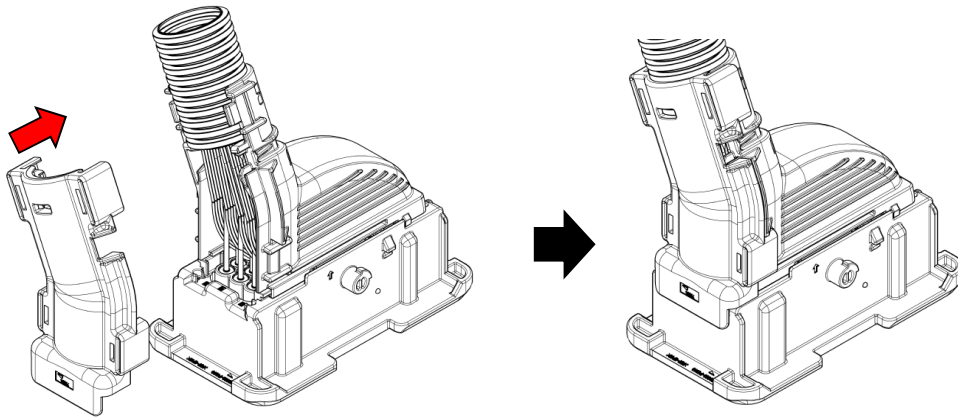


注意

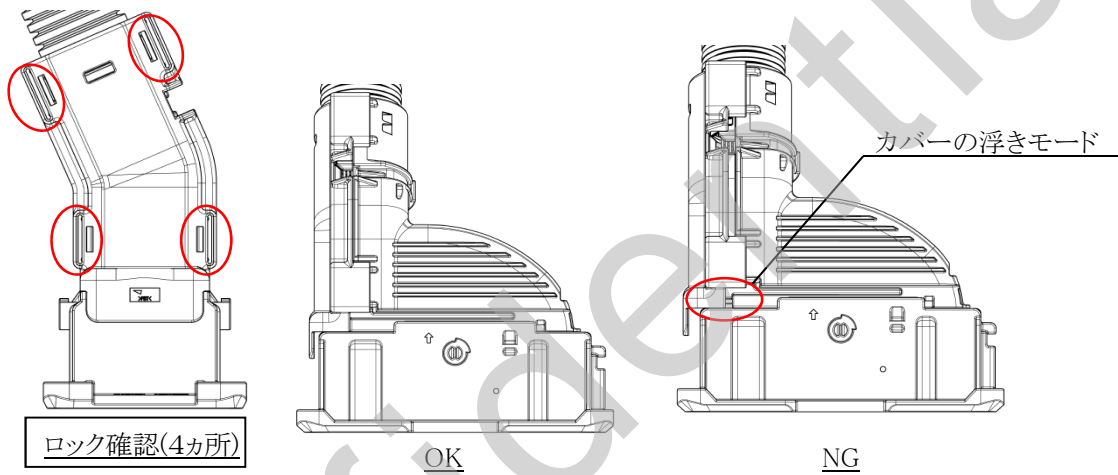
下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、
コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・ タイバンドが正規の位置に収まっていることを確認して下さい。
- ・ 電線がタイバンドに全て収まっていることを確認して下さい。

5) 矢印方向から挿入してロアカバーをアッパーカバーにロックします。



6) アッパーカバーとロアカバーに浮きがないか、カバーが完全にロックされているか確認して下さい。



※専用治具にて、カバーロックの中途かん合を確認して下さい。



注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・カバーがロックできない場合は、電線やコルゲートのかみこみが考えられますので、再度28頁6-3)のようにセットし直して下さい。
- ・カバー装着時に、カバーのロックを破損させないように注意して下さい。
- ・コルゲートを切断する際は、谷部で垂直に切断するように心掛けて下さい。
(図2の様に、1つ山切りまで可とします。)
- ・電線を傷つけないで下さい。
- ・D19以外のコルゲートチューブは保証しません。

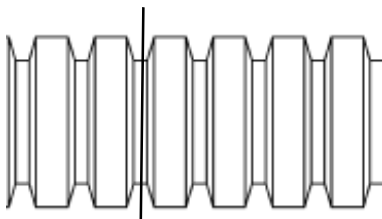


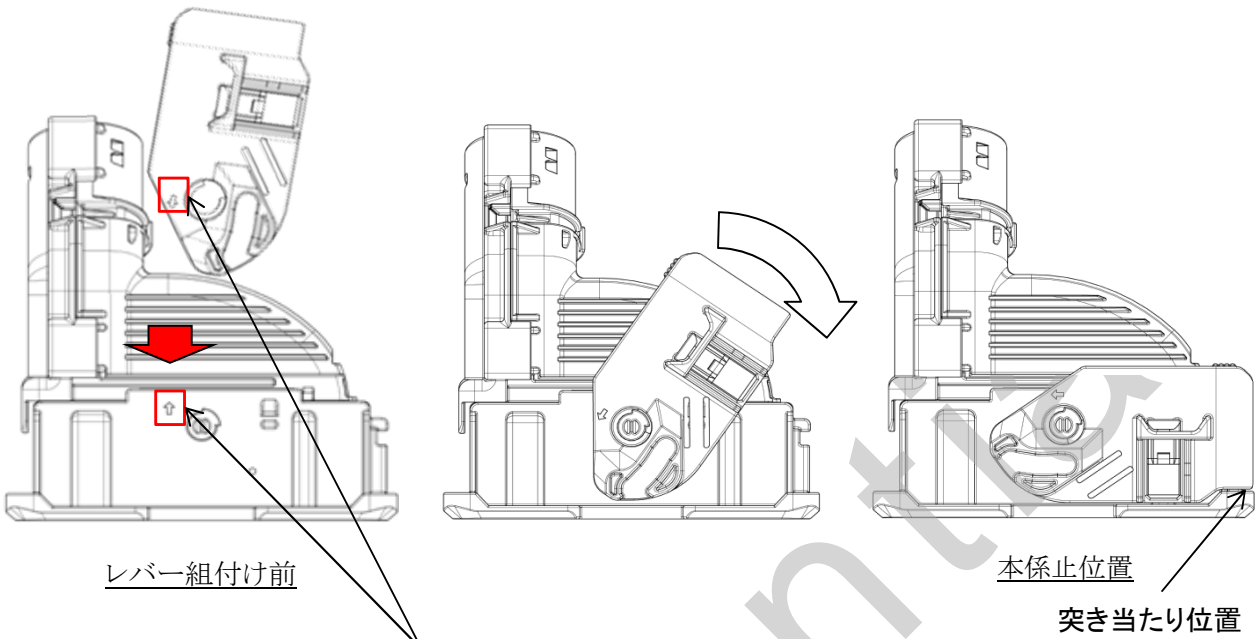
図 1



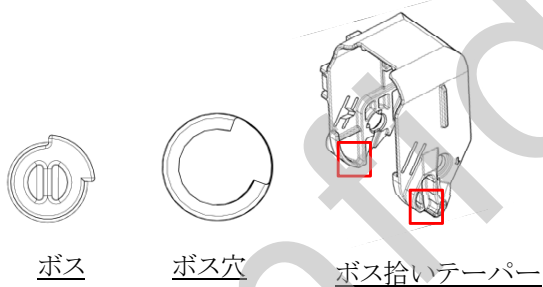
図 2.コルゲート切断最悪図

7. レバーの取付け方法

1)ハウジングとレバーの向きを合わせて挿入し、本係止位置にレバーをセットしてください。



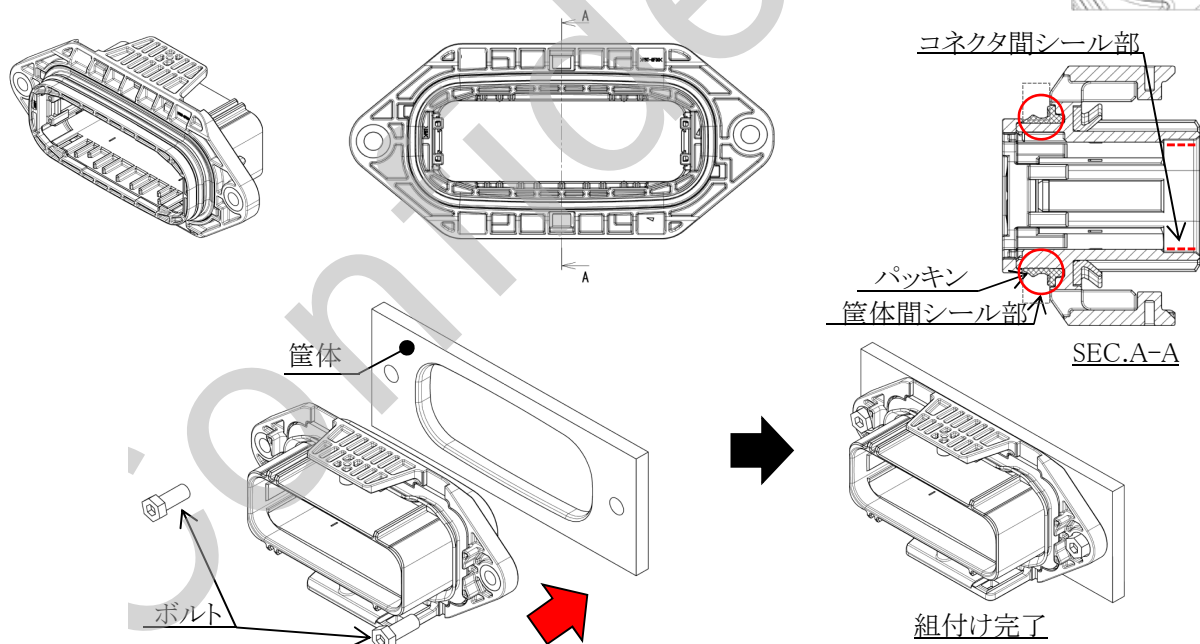
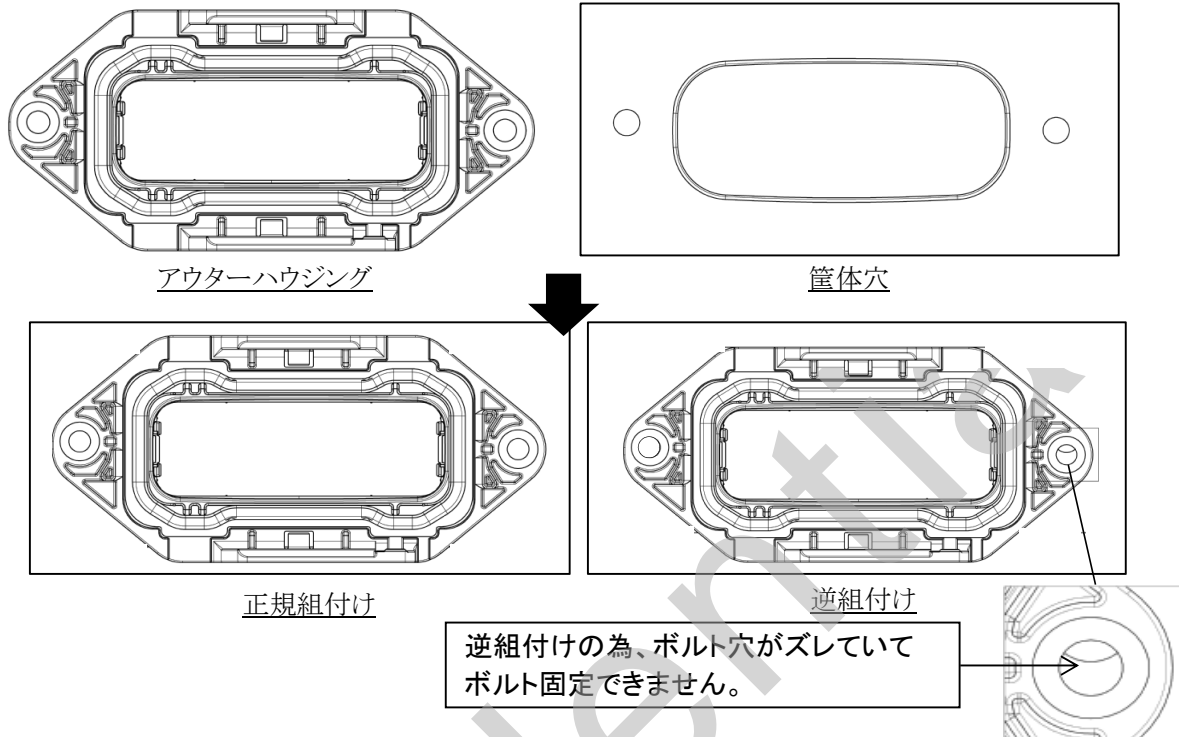
・レバーの矢印とハウジングの矢印の向きを合わせて、ボス拾いテーパにボスを当て、ボス穴へ組付けてください。



・レバーがハウジングへ突き当たるまで回転させてください。

8. 筐体とアウターハウジングの組付け

- ・ 筐体へアウターハウジングを組み付ける際には、ボルト穴位置を確認して取り付けて下さい。
- ・ 逆組付けの場合は筐体に組付けることが出来ません。



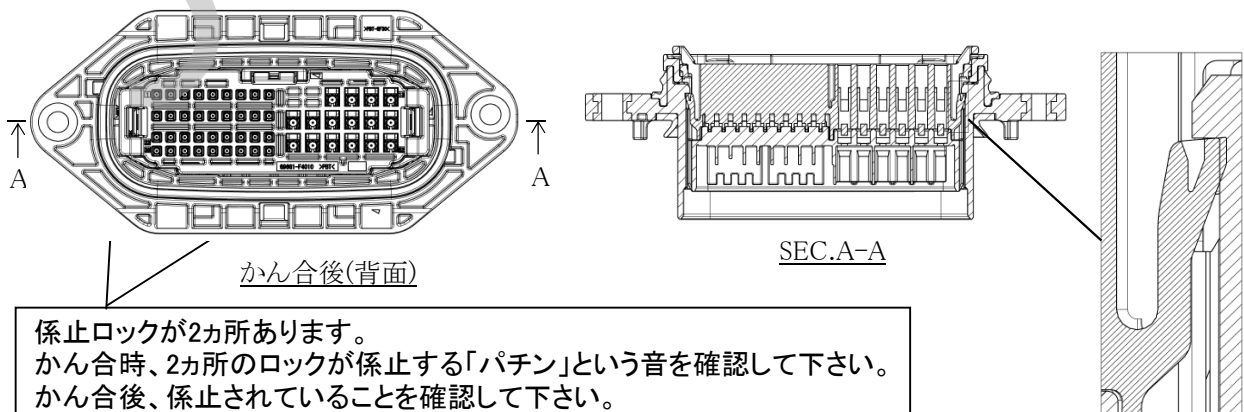
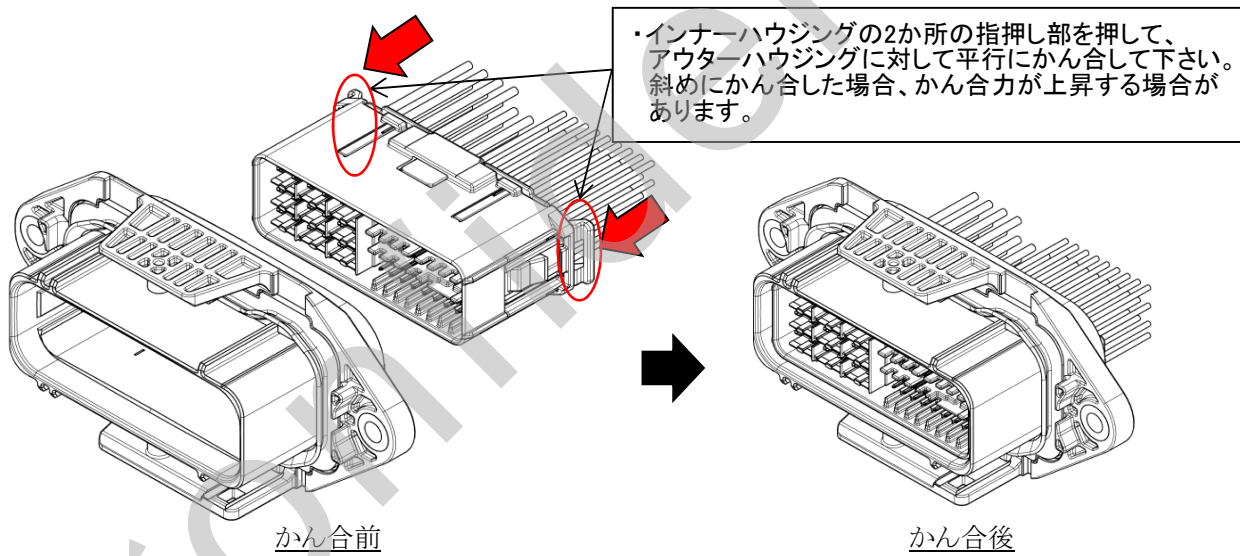
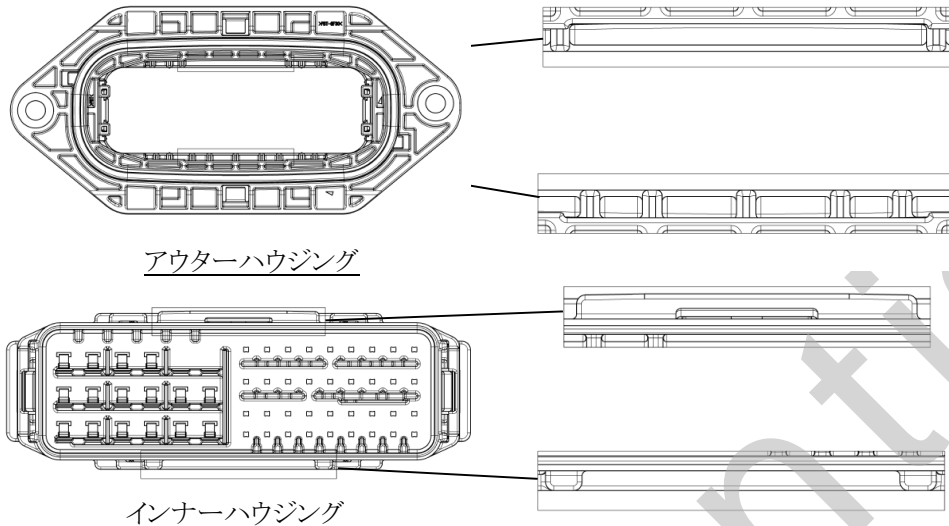
注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・ 組付け時にシール部へのゴミの付着や傷付きがないように取り付けてください。
- ・ 筐体間のパッキンめくれ等がなく、正規位置に装着されている事を確認して下さい。
- ・ ボルトはM5サイズを使用し、組付け時にねじ山の潰れ、斜め締結、着座不良、緩みや切粉等が発生していない事を確認して下さい。

9. インナーハウジングの組付け

- ・ インナーハウジングが本係止状態であることを確認して下さい。
- ・ アウターハウジングとインナーハウジングを組付ける際には、リブ形状を確認して下図の向きで組付けてください。
逆方向で組付けた場合、アウターハウジングとインナーハウジングが係止されません。



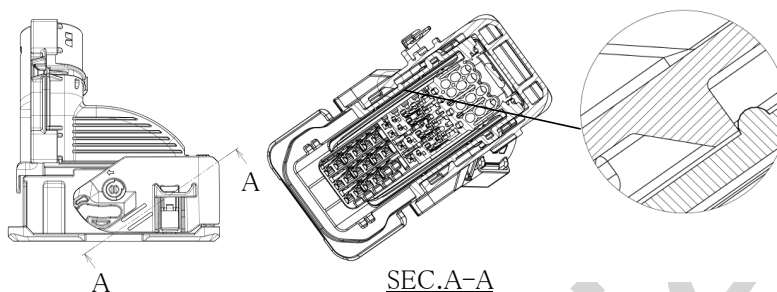
10. コネクタのかん合・離脱

10-1. コネクタのかん合

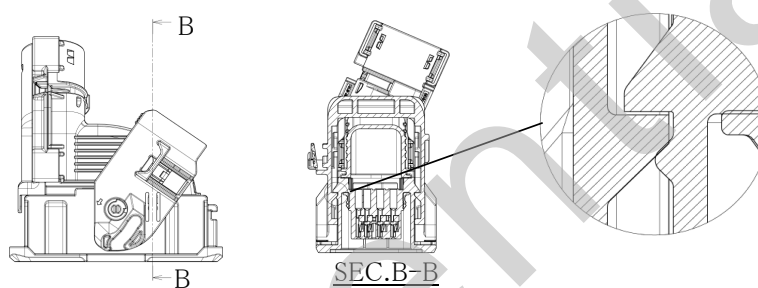
1) レバーの装着状態確認

- コネクタのかん合前に、レバーを仮係止位置へ移動して下さい。
- レバーが仮係止位置以外にある場合は、オスハウジングとかん合できません。

<本係止位置>
(かん合不可状態)

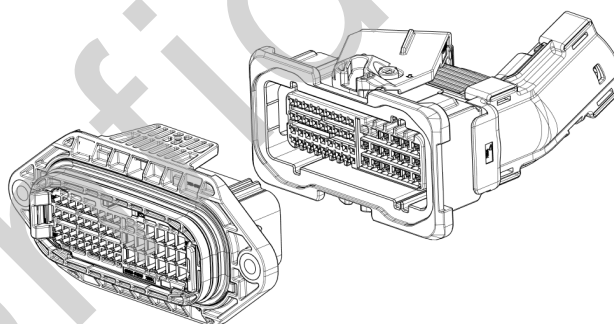


<仮係止位置>
(かん合可能状態)



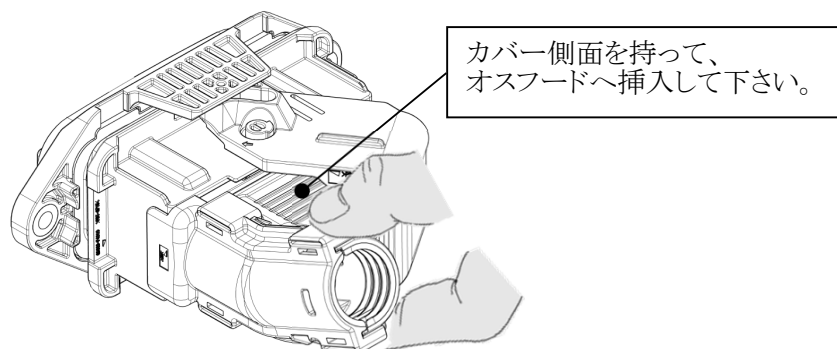
2) コネクタ挿入方向の確認

- リブ位置が同じになる様、コネクタの向きを確認して下さい。
- 逆向きではコネクタはかん合出来ません。



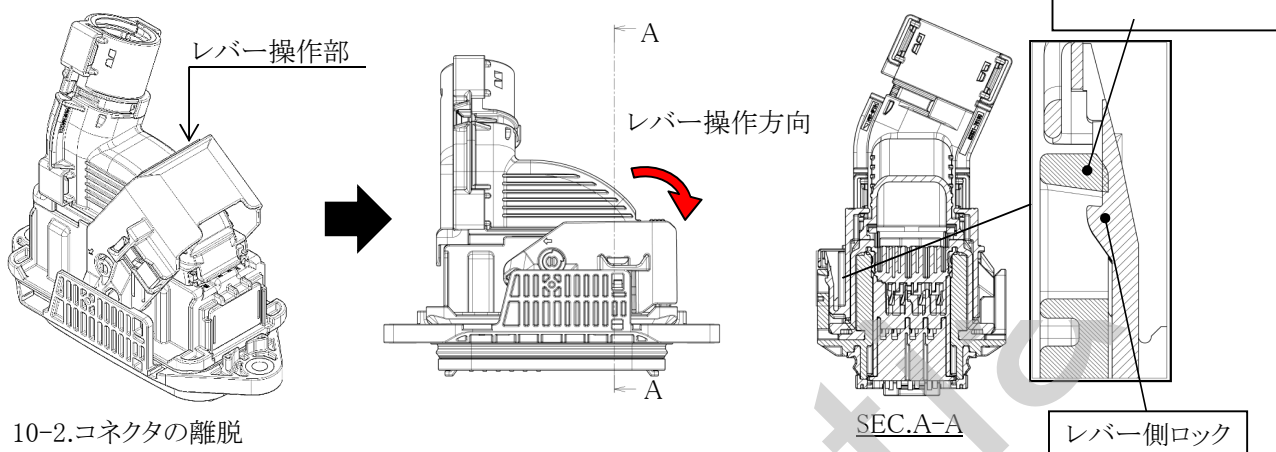
3) コネクタ仮挿入

- コネクタをオスフード内へ挿入します。
- コネクタを傾けずに挿入し、止まる位置まで挿入してください。
- 電線等のテンションがコネクタや端子に影響しない様、留意して下さい。



4) レバー操作

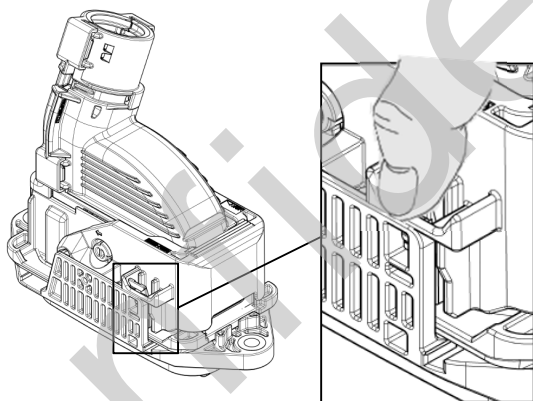
- レバー操作部に手指を当て、オス・メスかん合方向へロック音がするまでまっすぐ押し込みます。
- 作業終了後、レバーが水平状態である事を確認して下さい。



10-2.コネクタの離脱

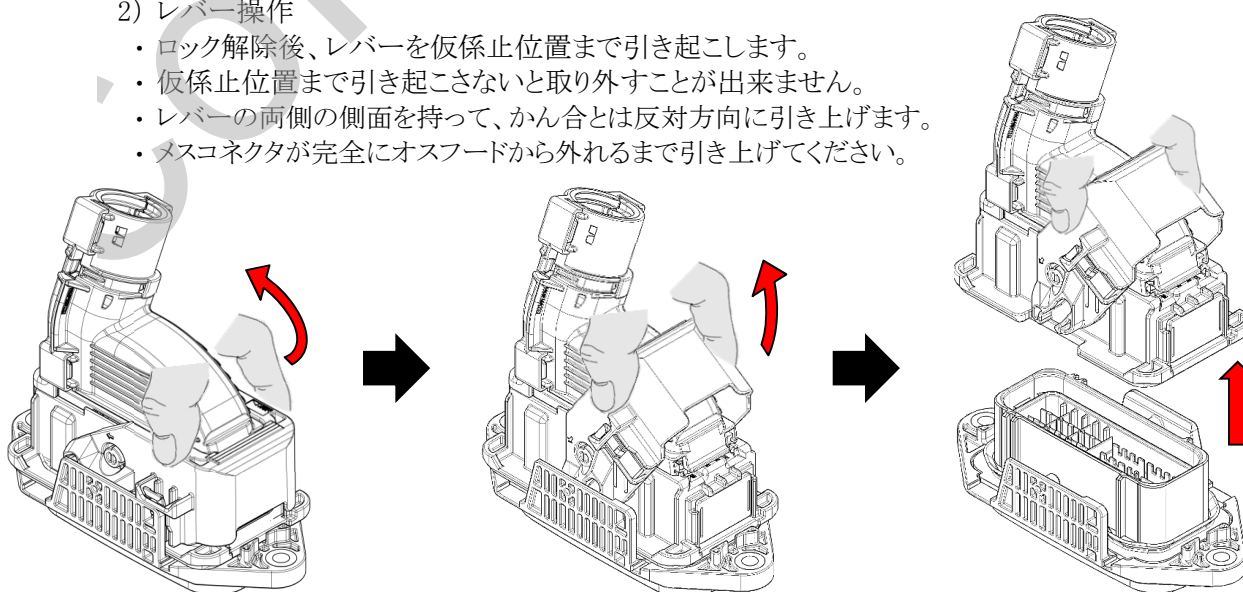
1) ロック解除

- ロッキングキー部を手指にて押してロックを解除して下さい。
- レバーが解除される位置まで引き戻して下さい。
(レバーの遊び分)
- 電線を引っ張らないで下さい。



2) レバー操作

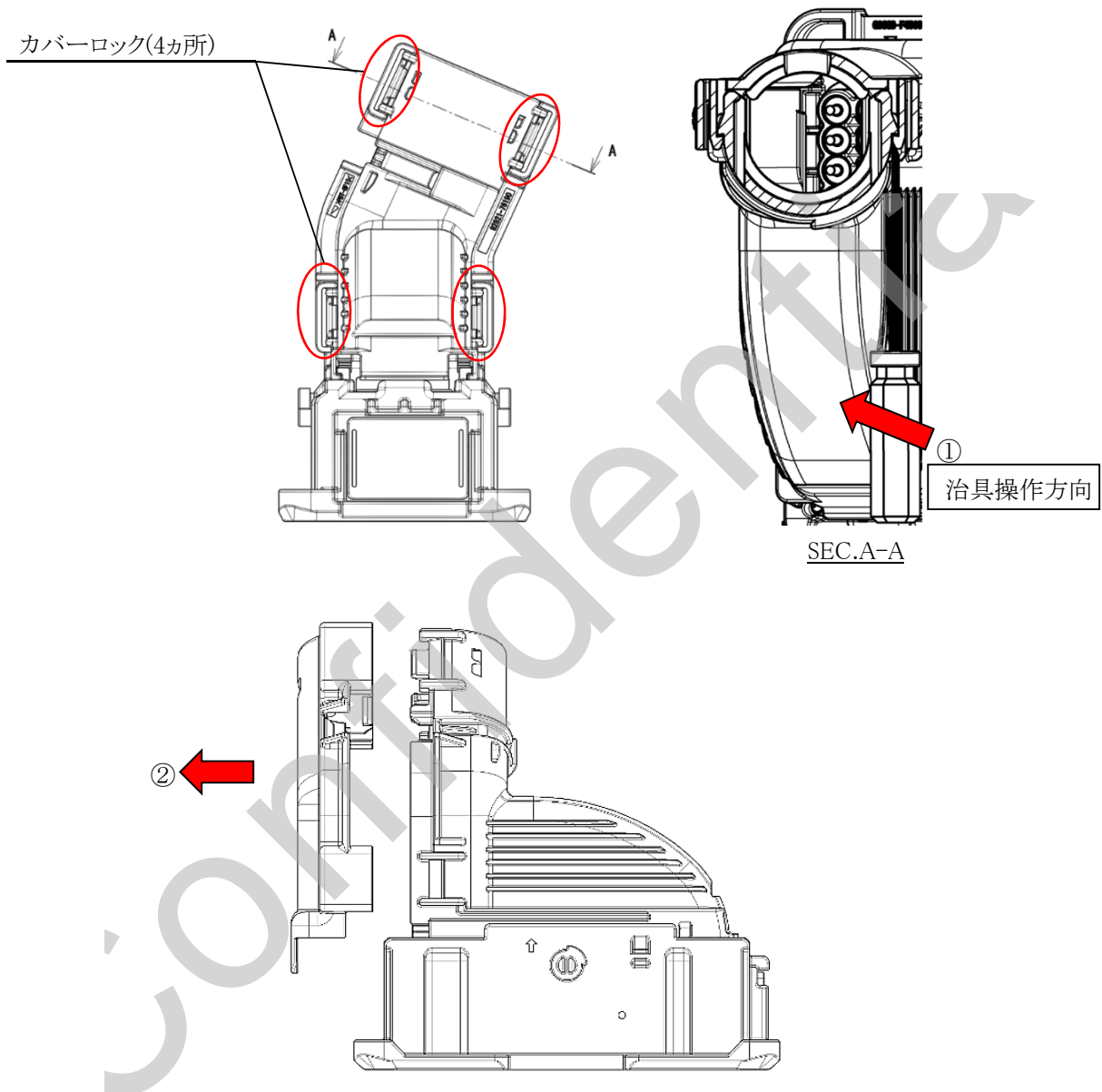
- ロック解除後、レバーを仮係止位置まで引き起こします。
- 仮係止位置まで引き起こさないと取り外すことが出来ません。
- レバーの両側の側面を持って、かん合とは反対方向に引き上げます。
- メスコネクタが完全にオスフードから外れるまで引き上げて下さい。



11. カバー取外し

11-1. ロアカバー取外し作業方法

- 1) カバー抜き治具をカバーロックに挿入します。
完全に突き当たるまで押し込んでください。
- 2) 抜き治具を矢印①方向に倒し、カバーロックを解除して下さい。
ロックは4カ所あります。1カ所ずつ確実に解除して下さい。
- 3) ロアカバーを矢印②方向に取外して下さい。



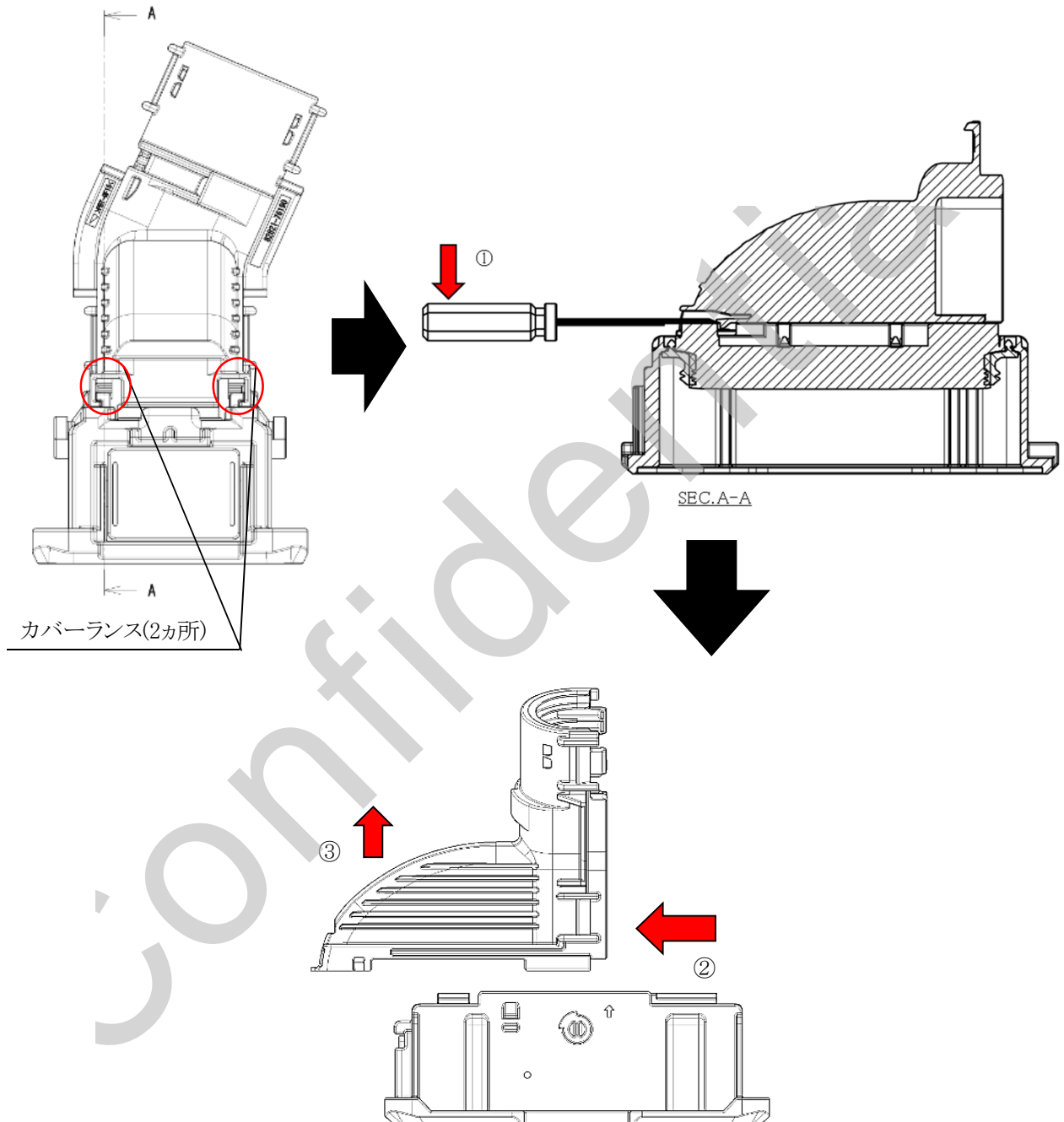
注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・部品が破損した場合は、再使用しないで下さい。

11-2. アッパーカバー取外し作業方法

- 1) カバー抜き治具をカバーランスに挿入します。
完全に突き当たるまで押し込んでください。
- 2) 抜き治具を矢印①方向に倒し、カバーランスを解除して下さい。
ランスは2カ所あります。1カ所ずつ確実に解除して下さい。
- 3) カバーを矢印②の方向にスライドさせた後、矢印③の方向に取外して下さい。



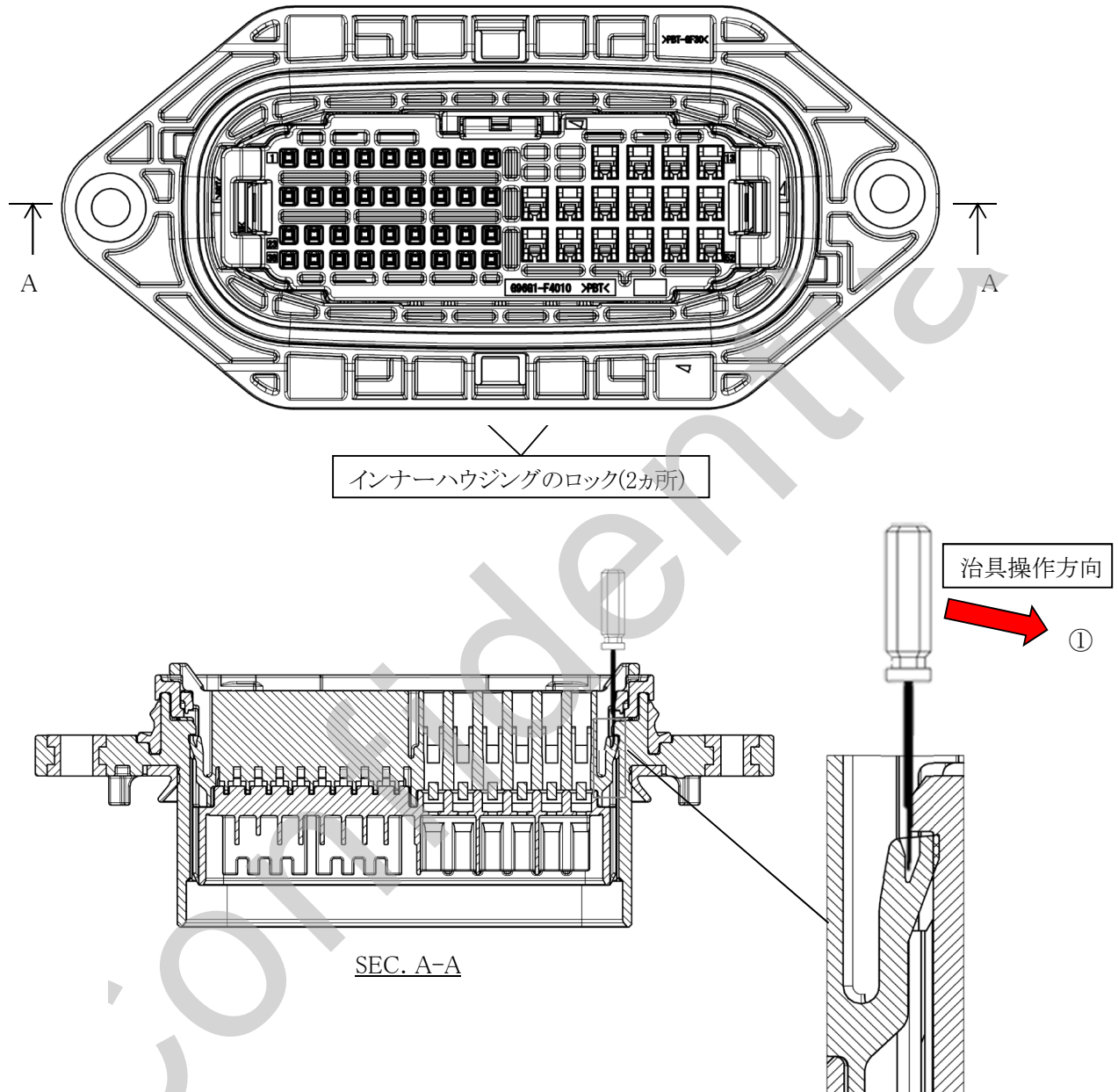
注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・部品が破損した場合は、再使用しないで下さい。

12. インナーハウジングの取外し

- ・ 抜き治具を①方向に倒し、インナーハウジングのロック2カ所を解除して下さい。
- ・ ロック解除が出来たらインナーハウジングを取外して下さい。



下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

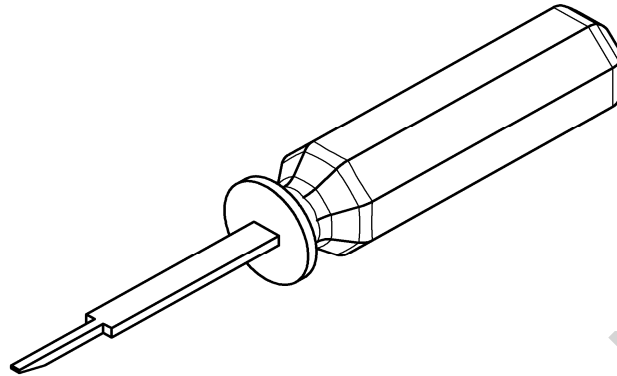
注意

- ・ 部品が破損した場合は、再使用しないで下さい。
- ・ インナーハウジングを取り外す際に、端子を変形させないで下さい。

13. 端子・スペーサの取外し

13-1. メススペーサ、メス端子(2.3Ⅱ)、カバーロック解除治具

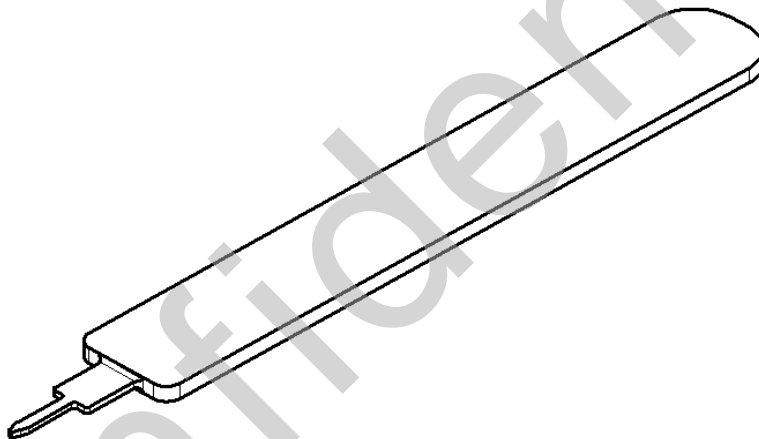
下記の治具を使用して下さい。(治具購入は、弊社営業担当へ問い合わせ下さい。)



名称: 抜き治具 (49YA000042)

13-2. メス端子(0.64)抜き治具

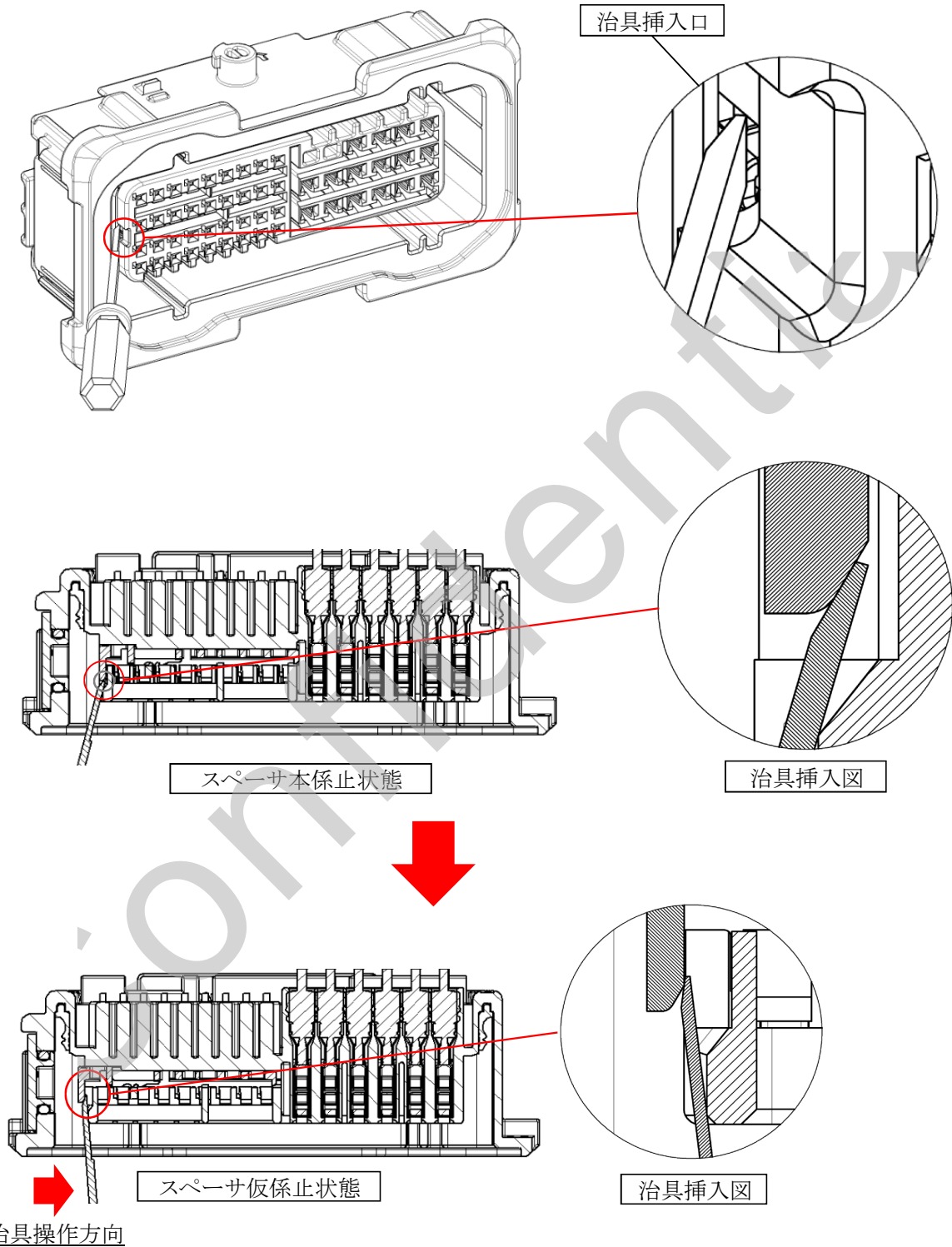
下記の治具を使用して下さい。(治具購入は、弊社営業担当へ問い合わせ下さい。)



名称: 抜き治具 (1-72)

13-3. メススペーサの本係止解除

- 1) 下図に示すように治具をスペーサの治具挿入口に挿入して下さい。
- 2) スペーサが確実に仮係止位置に戻っていることを確認して下さい。

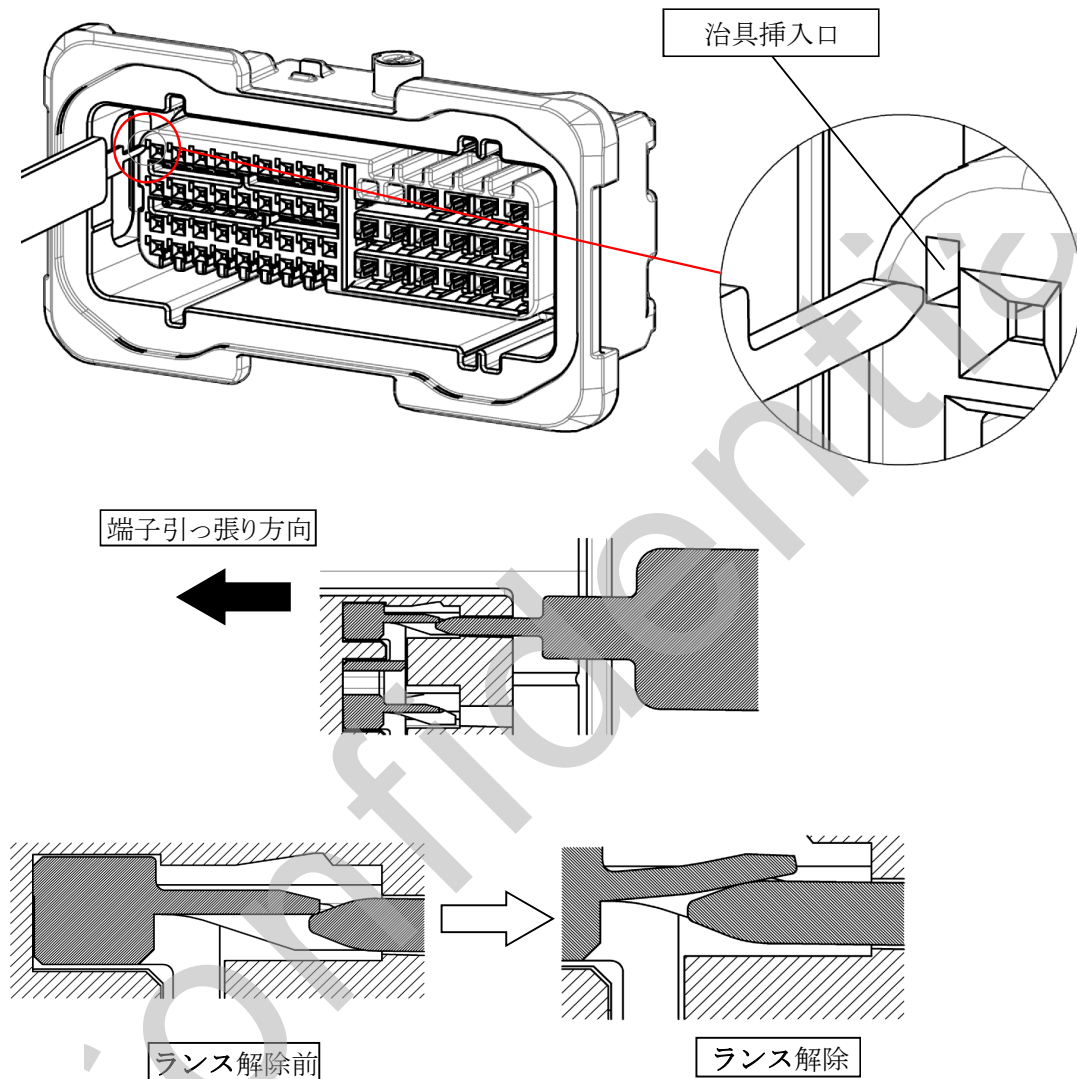


注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、
コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。
・ 部品を変形、損傷させないで下さい。

13-4.メス端子(0.64)取外し

- 1) 下図のような向きで、抜き治具を治具挿入口に真っ直ぐ挿入し、ハウジングのランス係止を解除して下さい。
- 2) そのまま、電線を黒矢印の方向へ軽く引っ張り、端子をキャビティから抜いて下さい。

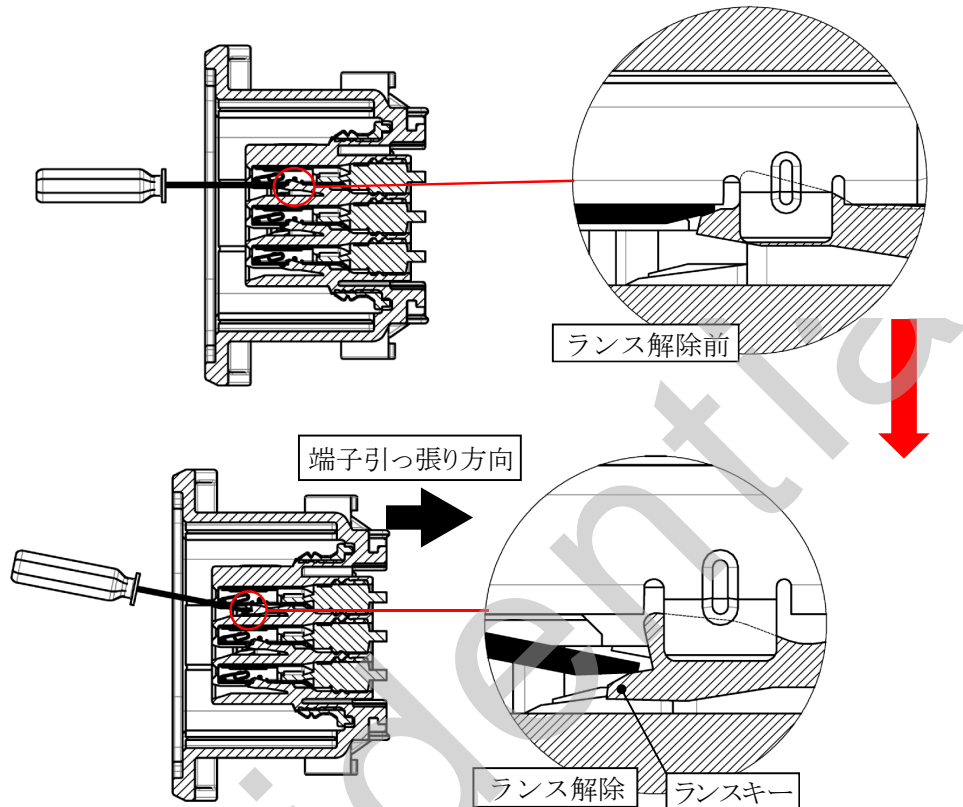


下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・端子取外し操作は本取扱説明書の作業徹底が出来る様十分に教育された技術員によって行って下さい。
- ・取外し過程において十分に教育されていない技術員によって端子抜き作業をすることは、端子やコネクタにダメージを与える結果となります。
- ・端子がハウジングから容易に抜けない場合は、上記の作業を最初からやり直して下さい。
- ・ランスを破損する恐れがあるため、抜き治具を挿入する際はハウジングに対して真っ直ぐに挿入し、押し込み過ぎないように注意して下さい。
- ・部品を変形や損傷させないで下さい。
- ・1度ハウジングキャビティー内に入った端子を抜いた場合、その多少に関わらず新しいハウジングに交換して下さい。

13-5.メス端子(2.3Ⅱ)取外し

- 1) 下図のような向きで、抜き治具を治具挿入口に真っ直ぐ挿入し、ランスキー部を押さえ、ハウジングのランス係止を解除して下さい。
- 2) そのまま、電線を黒矢印の方向へ軽く引っ張り、端子をキャビティから抜いて下さい。



注意

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・ 端子取外し操作は本取扱説明書の作業徹底が出来る様十分に教育された技術員によって行って下さい。
- 取外し過程において十分に教育されていない技術員によって端子抜き作業をすることは、端子やコネクタにダメージを与える結果となります。
- ・ 端子がハウジングから容易に抜けない場合は、上記の作業を最初からやり直して下さい。
- ・ ランスを破損する恐れがあるため、抜き治具を挿入する際はハウジングに対して真っ直ぐに挿入し、押し込み過ぎないように注意して下さい。
- ・ 部品を変形や損傷させないで下さい。
- ・ 1度ハウジングキャビティー内に入った端子を抜いた場合、その多少に関わらず新しいハウジングに交換して下さい。

14. ワイヤハーネスの配策、外装テープ巻き

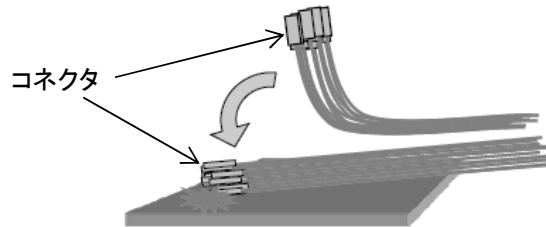
14-1. ワイヤハーネスの配策方法

下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は
コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・ 衝撃を与える様な、取り扱いはしないでください。



注意



14-2. ワイヤハーネスの外装テープ巻き方法

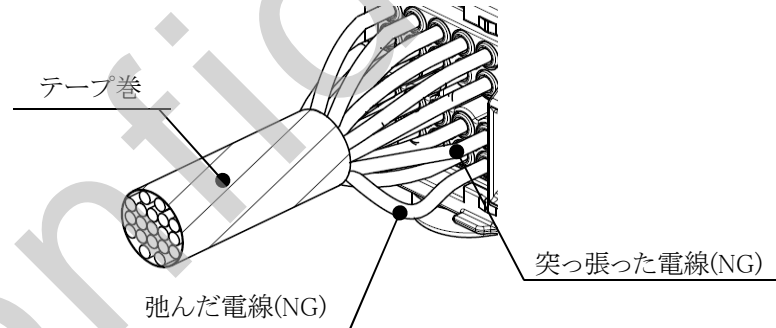
下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は
コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・ 特定の電線が突っ張ったり、弛むようなテープ巻きは
しないで下さい。

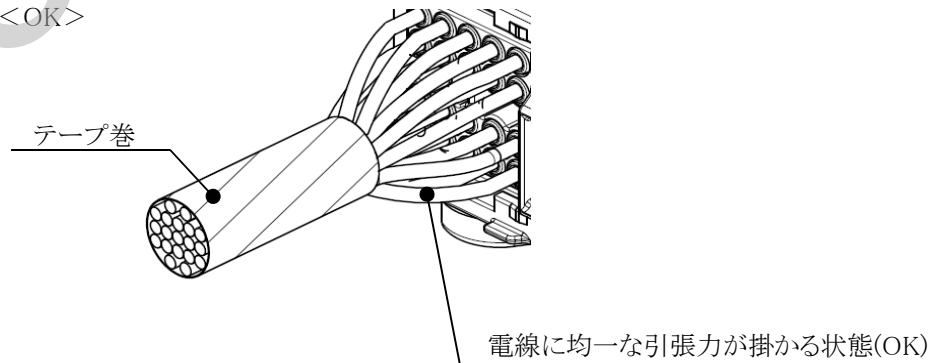


注意

<NG>



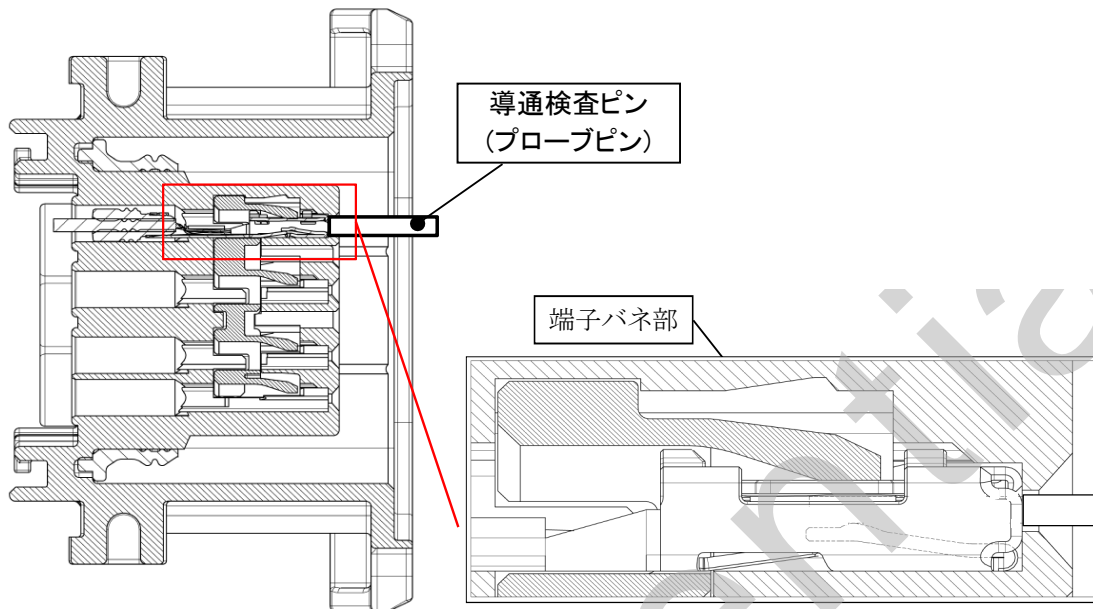
<OK>



15. 導通検査
15-1. チェッカー治具での検査方法

<導通検査>

メス側



注意

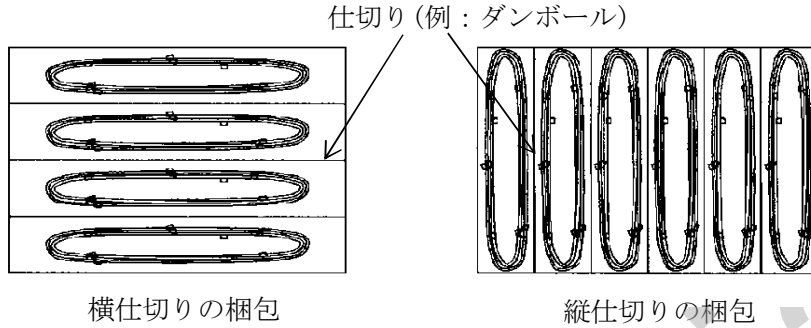
下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、コネクタの製品機能に影響を及ぼす恐れがある為、新しい製品と交換してください。

- ・ 配線検査や導通検査に使用する治具は、ハウジングや端子を破損しないように嵌合相手と同程度の精度として下さい。
- ・ メスハウジングの導通検査にて、端子のバネ部に導通検査ピン(プローブピン)を当てる場合には、変形に注意して下さい。
- ・ 部品を変形させないで下さい。
- ・ 始業点検として、上記治具が正常に作動する事を確認して下さい。

16. ワイヤーハーネス梱包、取り出し

16-1. ワイヤーハーネス梱包方法

1) 各層毎にダンボール等の縦・横仕切りや内部支えを使用して下さい。



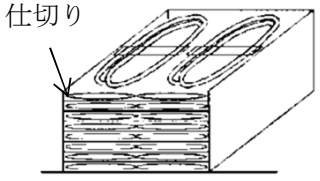
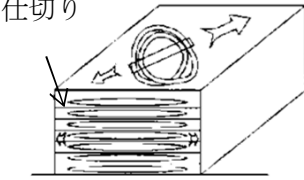
2) ジャンクションブロック、リレーボックス、プロテクター、ブラケットのような重いものは、梱包箱や仕切りの底に配置して下さい。

○	
×	

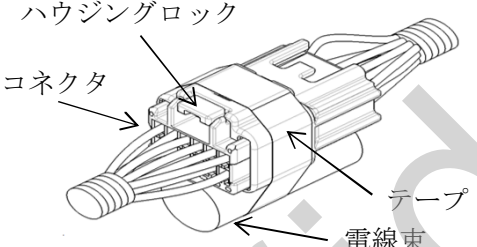
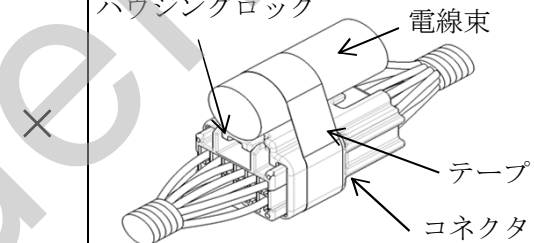
3) コネクタはワイヤーハーネス束の外側か内側へ配置して下さい。

○	
×	

- 4) 運搬、保管中にワイヤーハーネスが動かないように、梱包箱に合うサイズで束ねて下さい。

○		<p>梱包箱に合わせたサイズ、配置で運搬、保管中の動きを最小限に抑えている。</p>
×		<p>余分なスペースがあるため運搬、保管中にワイヤーハーネスが梱包箱内で動きやすい。</p>

- 5) コネクタをワイヤーハーネスにテープ止めする場合は、ハウジングロックに電線束が当たらないような配置として下さい。

○		
---	--	---



注意

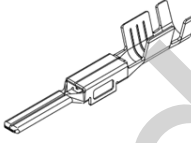
- 下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、半かん合、導通不良の恐れがある為、新しい製品と交換して下さい。
- ・製品にかかるワイヤーハーネスの荷重を均一にして下さい。
 - ・製品に外部から力を加わらない様にして下さい。

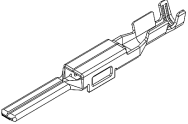
16-2. ワイヤーハーネス取り出し方法

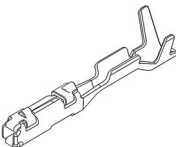


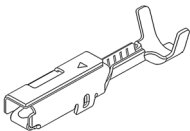
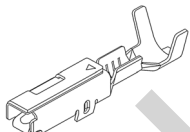
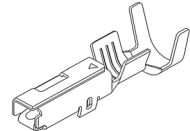
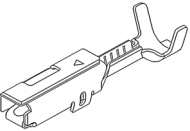
注意

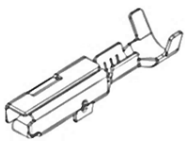
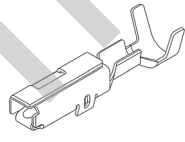
- 下記項目を守られなく、製品が変形、破損した場合は、半かん合、導通不良の恐れがある為、新しい製品と交換して下さい。
- ・梱包箱からワイヤーハーネスを取り出す際は、ワイヤーハーネスの絡みに注意して下さい。
 - ・埃、雨水等を防止し、丁寧に取扱うようにお願いします。

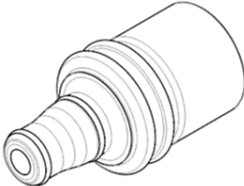

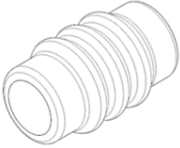
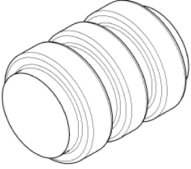
矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用電線	材質 (めっき)	備考
7114-4819-02 (0.64 SEALED TERMINAL MALE)		CIVUS 0.35sq CIVUS 0.50sq	銅合金 (Sn)	住友電 装(株) 殿製
7114-4819-08 (0.64 SEALED TERMINAL MALE)			銅合金 (Au)	
7114-4624-02 (2.3 II TERMINAL MALE)		CIVUS 0.35sq IVSSH(f) 0.35sq	黄銅 (Sn)	
7114-4020 (2.3 II TERMINAL MALE)		CIVUS 0.35、0.5sq IVSSH(f) 0.5sq	黄銅 (Sn)	
7114-4021 (2.3 II TERMINAL MALE)		CIVUS 0.75、1.25sq IVSSH(f) 0.75sq	黄銅 (Sn)	
7114-4022 (2.3 II TERMINAL MALE)		IVSSH(f) 2sq	黄銅 (Sn)	
7114-4624-08 (2.3 II TERMINAL MALE)		CIVUS 0.35sq	黄銅 (Au)	
7114-4052-08 (2.3 II TERMINAL MALE)		CIVUS 0.35、0.5sq IVSSH(f) 0.5sq	黄銅 (Au)	
7114-4053-08 (2.3 II TERMINAL MALE)		CIVUS 0.75、1.25sq IVSSH(f) 0.75sq	黄銅 (Au)	

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用電線	材質 (めっき)	備考
7195-1938-02 (2.3 II TERMINAL MALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		CIVUS 0.35、0.5sq IVSSH(φ) 0.35、0.5sq ALVUS 0.5sq ALVSSH 0.5sq	銅合金 (Sn)	
7195-1939-02 (2.3 II TERMINAL MALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		CIVUS 0.75sq IVSSH(φ) 0.75sq ALVUS 0.75sq	銅合金 (Sn)	
7195-1942-02 (2.3 II TERMINAL MALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		ALVUS 2.5sq	黄銅 (Sn)	

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用電線	材質 (めっき)	備考
7196-1102-02 (0.64 SEALED TERMINAL FEMALE S SIZE)		CIVUS 0.13sq	銅合金 (Sn)	
7196-1103-02 (0.64 SEALED TERMINAL FEMALE M SIZE)		CIVUS 0.35sq IVSSH(f) 0.35sq	銅合金 (Sn)	
7196-1104-02 (0.64 SEALED TERMINAL FEMALE L SIZE)		CIVUS 0.5sq IVSSH(f) 0.5sq	銅合金 (Sn)	
7116-6875-08 (0.64 SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.13sq	銅合金 (Au)	住友電 装(株) 殿製
7116-4727-08 (0.64 SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.35sq IVSSH(f) 0.35sq	銅合金 (Au)	
7116-7999-08 (0.64 SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.5sq IVSSH(f) 0.5sq	銅合金 (Au)	

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用電線	材質 (めっき)	備考
7116-6804-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.13sq	銅合金 (Sn)	
7116-5044-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [LOW INSERTION FORCE TYPE])		CIVUS 0.35、0.5sq IVSSH(f) 0.35、0.5sq	銅合金 (Sn)	
7116-5045-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [LOW INSERTION FORCE TYPE])		CIVUS 0.75、1、1.25sq IVSSH(f) 0.75、1.25sq	銅合金 (Sn)	
7116-5046-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [LOW INSERTION FORCE TYPE])		IVSSH(f) 2sq	銅合金 (Sn)	
7116-5037-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [LOW INSERTION FORCE TYPE])		AVSS 2sq	銅合金 (Sn)	
7116-6804-08 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.13sq	銅合金 (Au)	

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用電線	材質 (めっき)	備考
7116-4028-08 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.35、0.5sq IVSSH(f) 0.35、0.5sq	銅合金 (Au)	
7116-4029-08 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE)		CIVUS 0.75、1.25sq IVSSH(f) 0.75sq	銅合金 (Au)	
7196-1943-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		CIVUS 0.35、0.5sq IVSSH(f) 0.35、0.5sq ALVUS 0.5sq ALVSSH 0.5sq	銅合金 (Sn)	
7196-1944-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		CIVUS 0.75sq IVSSH(f) 0.75sq ALVUS 0.75sq	銅合金 (Sn)	
7196-1946-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		IVSSH(f) 2sq ALVUS 2sq	銅合金 (Sn)	
7196-1947-02 (2.3 II SEALED TERMINAL FEMALE [ALUMINUM AND COPPER WIRE])		ALVUS 2.5sq	銅合金 (Sn)	

矢崎品番 (矢崎品名)	形状	適用電線	備考
7172-5625-90 (0.64 3.60mm PITCH RUBBER STOPPER S SIZE)		CIVUS 0.13、0.35sq	
7172-5626-90 (0.64 3.60mm PITCH RUBBER STOPPER M SIZE)		CIVUS 0.5sq IVSSH(φ) 0.35sq	
7172-5627-60 (0.64 3.60mm PITCH RUBBER STOPPER L SIZE)		IVSSH(φ) 0.5sq	
7158-3003-90 (2.3-2 5mm PITCH RUBBER STOPPER S SIZE)		CIVUS 0.35、0.5 0.75、1.25sq IVSSH(φ) 0.35、0.5、0.75sq ALVUS 0.5、0.75sq ALVSSH 0.5sq	
7158-3004-40 (2.3-2 5mm PITCH RUBBER STOPPER M SIZE)		CIVUS 1.25sq ALVUS 2sq	
7158-3005-80 (2.3-2 5mm PITCH RUBBER STOPPER L SIZE)		IVSSH(φ) 2sq ALVUS 2.5sq	
7172-5628-80 (0.64 3.60mm PITCH DUMMY PLUG)			
7157-3382-80 (2.3 II SEALED P5 DUMMY STOPPER [SEAL DMY P5-BR])			住友電 装(株) 殿製

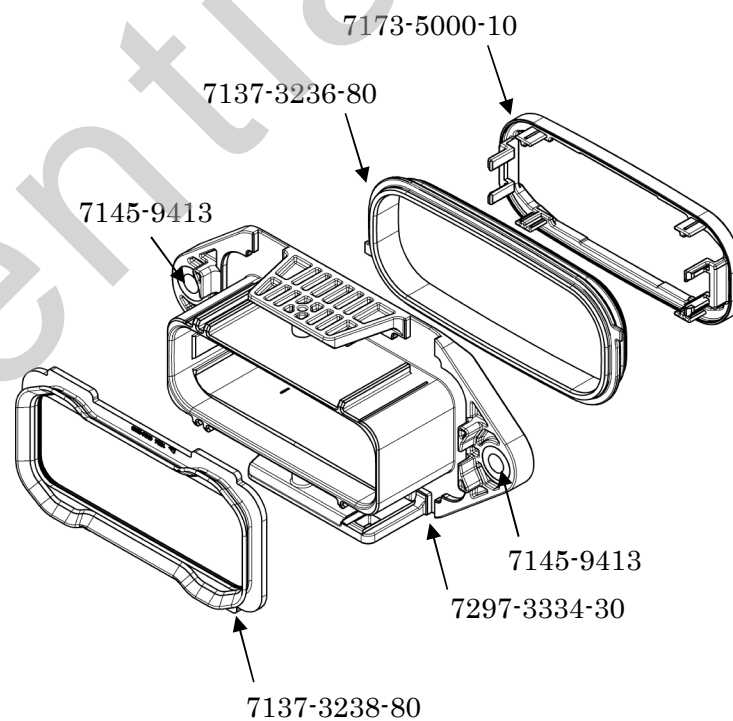
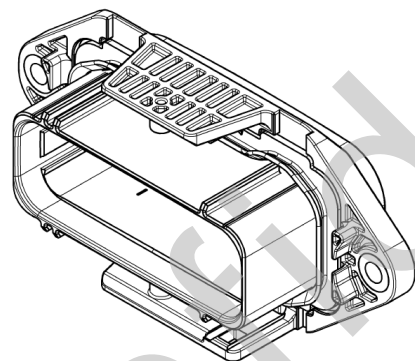
矢崎品番
(矢崎品名)

形状

構成部品
(品番及び形状)

7297-3333-30

(0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID
SEALED LIF OUTER HOUSING
MALE ASSEMBLY)



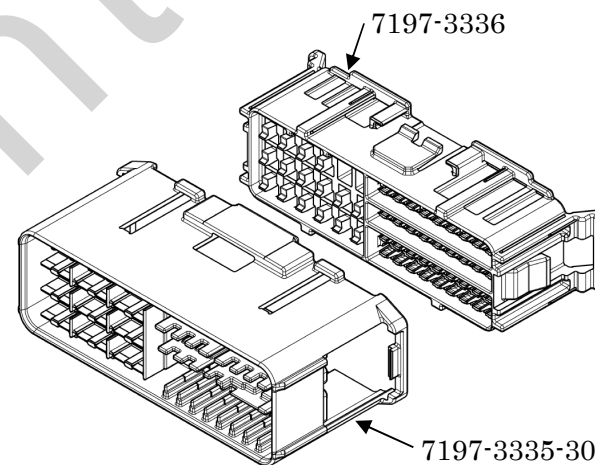
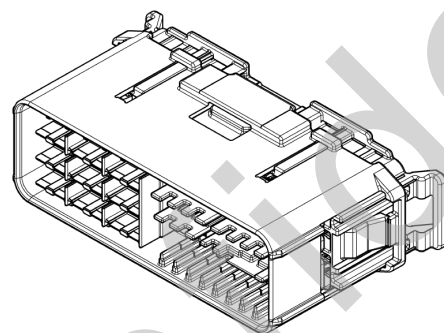
矢崎品番
(矢崎品名)

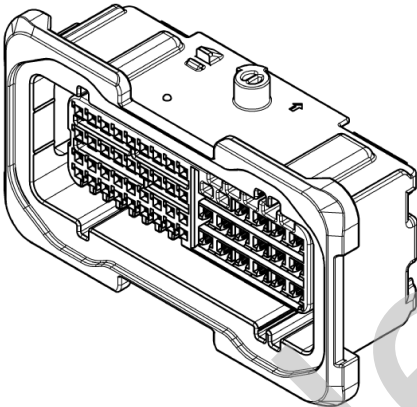
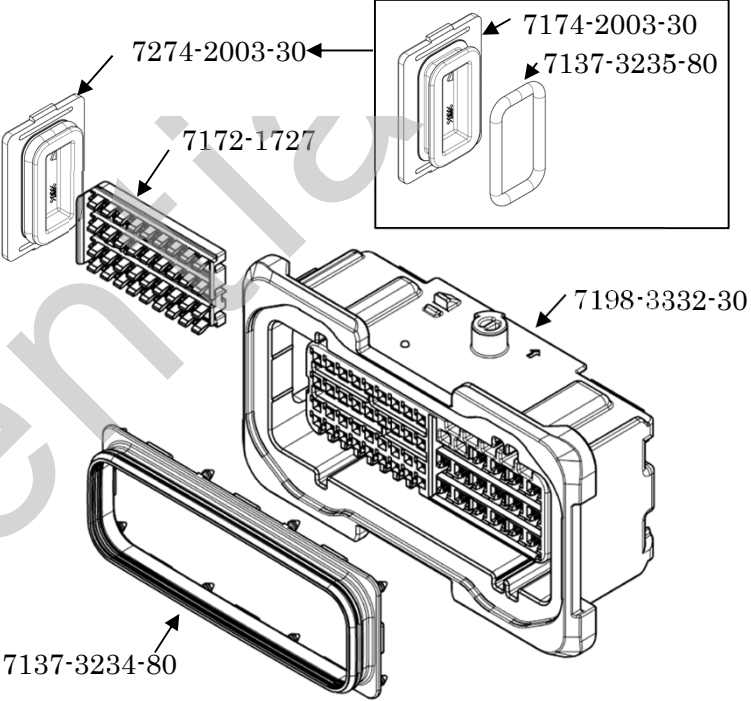
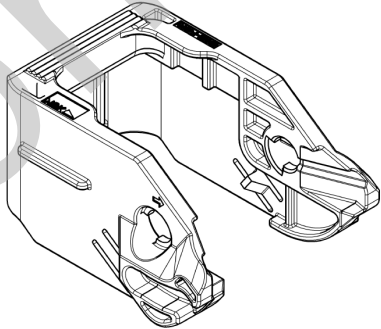
形状

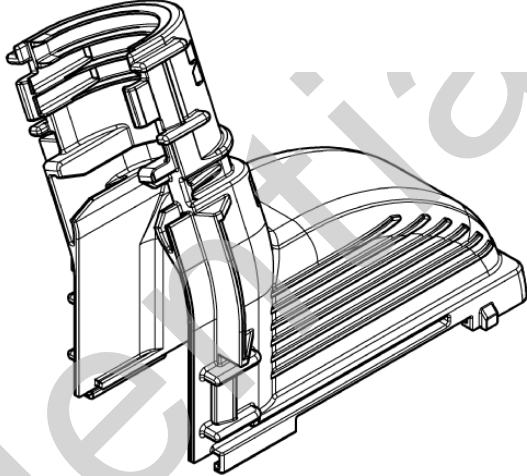
構成部品
(品番及び形状)

7297-3335-30

(0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID
SEALED LIF INNER HOUSING
MALE
SUB ASSEMBLY)



矢崎品番 (矢崎品名)	矢崎品番 (矢崎品名)	形状	構成部品 (品番及び形状)
7298-3331-30 (0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID SEALED LIF HOUSING FEMALE ASSEMBLY)	7298-3332-30 (0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID SEALED LIF HOUSING FEMALE SUB ASSEMBLY)		
	7173-4998-10 (0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID SEALED LIF LEVER FEMALE)		

矢崎品番 (矢崎品名)		形状	適応コルゲートサイズ
<p>7274-9262-30</p> <p>(0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID SEALED LIF COVER ASSEMBLY)</p>	<p>7174-9262-30</p> <p>(0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID SEALED LIF UPPER COVER)</p>		<p>D19</p>
	<p>7174-9263-30</p> <p>(0.64W 36P + 2.3 II 16P HYBRID SEALED LIF LOWER COVER)</p>	